

## 滋賀県立高等学校再編基本計画案および同実施計画案について

- 資料1 主な地域における高校再編計画（案）の概要
- 資料2 滋賀県立高等学校再編計画（原案）と再編計画（案）比較表
- 資料3 滋賀県立高等学校再編計画（案）（概要版）
- 資料4 滋賀県立高等学校再編基本計画（案）
- 資料5 滋賀県立高等学校再編実施計画（案）

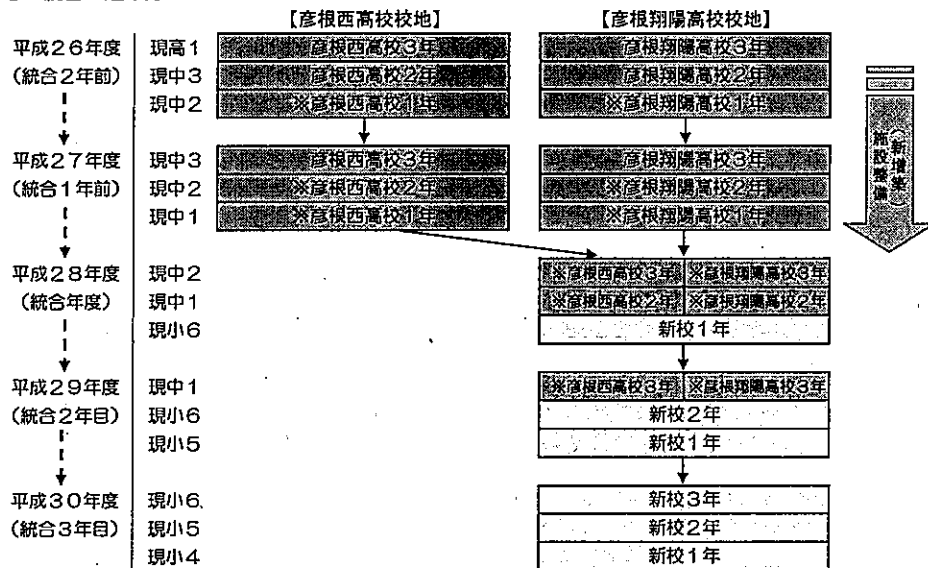
## 主な地域における高校再編計画（案）の概要

### ■湖東地域

#### ○彦根新校・・・普通・商業・家庭系列の総合学科高校、校舎を新增築

- 彦根西高校（普通科、家庭科）と彦根翔陽高校（総合学科）を平成28年度に統合し、彦根翔陽高校校地に普通・商業の系列に加えて、彦根西高校の伝統ある家庭科教育を引き継ぐ家庭系列で編成する総合学科高校を設置します。
- 統合新校は、1学年9学級を想定し、多様な学びの中から夢の実現を支援する学校、多様な生徒が集い、互いに切磋琢磨しながら夢を育み学ぶ学校を目指します。
- 彦根翔陽高校校地に家庭科系列の実習施設を含む校舎を新增築し、多様な学習の展開を可能にします。

#### ○ 統合の進め方



※ 平成26年度および平成27年度に彦根西高校および彦根翔陽高校に入学した生徒は、平成28年度から全員が現彦根翔陽高校校地で学習します。(施設の整備状況により、変更となる場合があります。)

#### ○定時制課程・・・彦根工業高校の定時制課程を存置

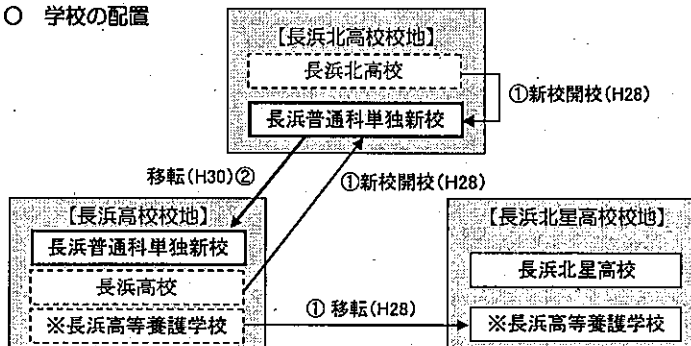
- 彦根工業高校の定時制課程を存置します。
- なお、能登川高校に普通科の総合単位制高校を設置することに伴い、彦根東高校の定時制課程は平成26年度入学者選抜より募集を停止します。

## ■湖北地域

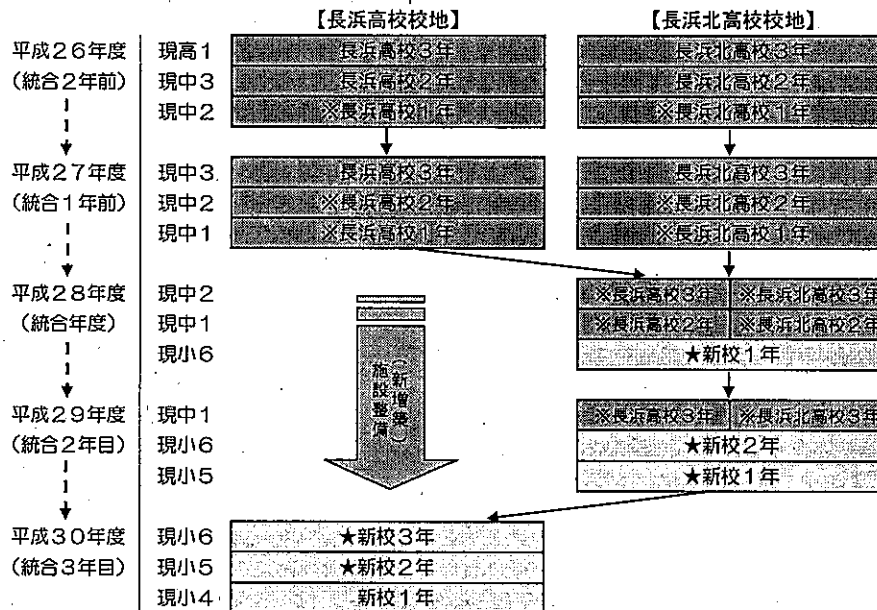
### ○長浜新校・・・普通科単独校、校舎を新增築、英語教育のモデル校

- ・長浜北高校校地において、平成28年度に長浜北高校と長浜高校を統合します。
- ・長浜高校跡地に校舎を新增築します。新校舎完成後、平成30年度に長浜高校跡地へ統合新校を移転します。
- ・新校は、1学年8学級を想定し、大学等への進学指導に重点を置く普通科単独校とし、新しい英語教育のモデル校としてグローバル社会に生きる国際人を育成します。
- ・なお、長浜高校福祉学科は平成26年度入学者選抜より募集を停止します（長浜北星高校の総合学科に福祉系列を設置）。
- ・また、中高一貫教育校については、新校の運営実績等を見定めた上で、新校設置後5年を目途に新校に設置します。

#### ○ 学校の配置



#### ○ 統合の進め方



### ○長浜北星高校・・・福祉系列を新たに設置、実習棟を新築

- ・平成26年度より福祉系列を設置し、普通・工業・商業・福祉系列から編成される総合学科とし、生徒の多様なニーズに対応した学習の機会を提供します。
- ・新たに設置する福祉系列では、福祉に関する基礎的・基本的な学習を通して、将来、福祉や看護、医療分野などで地域に貢献できる資質と能力を育成します。
- ・既存の実習棟を整理し、福祉実習施設、工業・商業実習施設を備える実習棟を新築します。

### ○長浜高等養護学校・・・長浜北星高校へ移転・校舎新築、教育環境が改善、 駅から近くなる

- ・平成28年度に長浜高等養護学校を長浜北星高校校地へ新築移転します。
- ・長浜北星高校に設置する福祉系列と連携した福祉学習や長浜北星高校の実習施設を活用した多様な分野の「作業学習」を行うことができます。
- ・また、現在は、校地外に農地を借用していますが、今後は校地内に農場を確保できるなど「作業学習」の効率化が図られ、教育環境が改善されます。
- ・長浜駅からの距離が近くなり、通学の利便性が向上します。

### ○定時制課程・・・長浜北星高校の定時制課程を存置、総合学科に改編

- ・長浜北星高校の定時制課程を存置します。
- ・平成26年度に商業学科から普通、商業の系列で編成する総合学科に改編し、転編入学や3年間での卒業を容易にするなど、生徒の多様な学習ニーズに対応した教育を進めます。

## ■甲賀地域

### ○信楽高校・・・本校として存置、地域の資源を活用した教育活動を展開

- ・信楽高校を本校として存置します。
- ・信楽高校（普通科、セラミック科、デザイン科）を、平成26年度に普通、セラミック、デザインの3系列を持つ総合学科に改編します。
- ・学校の規模は、1学年2学級を想定し、地場産業等の教育資源を活用した教育活動を展開することで、郷土の伝統や文化を学び、ふるさとへの愛着を感じて地域に貢献する人を育成します。
- ・学校行事や部活動等において、近隣校と連携した取り組みを進めます。
- ・県外から生徒を募集する仕組みを導入します。
- ・改編後、5年を目途に検証を行い、その評価を踏まえて必要な対応を検討します。

#### ・仮称「ふるさと学」を導入した取組例（全員が特別活動や総合的な学習の時間等で履修）

- ・紫香楽宮跡等散策や朝宮茶の巡検等のフィールドワーク
- ・陶芸の森による「登り窯焼成事業」「絵付け事業」等への参加や、スタジオアーティスト（外国人研修生）との交流等
- ・信楽窯業技術試験場と連携した講義、体験実習等
- ・信楽陶器工業協同組合による窯元見学、陶器の製造に関する講義等
- ・信楽陶器卸商業協同組による陶器販売に関する講義や実習
- ・伝統工芸士をはじめとする地元陶芸家による講義・実習
- ・滋賀県立大学の「近江楽座」の取組への参画 等

滋賀県立高等学校再編計画(原案)と再編計画(案)比較表

再編項目	再編計画(原案)	再編年度	再編計画(案)	再編年度
新しいタイプの学校の設置	総合単位制高校の設置 (能登川高校の改編)	H26	原案どおり	H26
統合による 新しい学校の設置	彦根西高校と彦根翔陽高校の統合	H26	統合パターンを修正、学校規模を拡大	H28
	長浜高校と長浜北高校の統合	H26	統合パターンを修正、学校規模を拡大、普通科単独校へ変更	H28
地域に根ざした学校づくり	信楽高校の分校化 (甲南高校信楽分校の設置)	H26	信楽高校を独立校で存置 総合学科(2学級規模)に改編し、普通、セラミック、デザインの3系列を設置 (改編後5年を目途に検証し、その評価を踏まえ対応を検討)	H26
職業系専門学科の改編等				
農業学科	長浜農業高校・湖南農業高校・八日市南高校の小学科改編	H26	原案どおり	H26
工業学科	瀬田工業高校・彦根工業高校・八幡工業高校の小学科改編	H26	原案どおり	H26
	瀬田工業高校と瀬田高校の統合	H26	原案どおり	H26
福祉学科	—		長浜高校の福祉学科の廃止	H26
総合学科の充実	長浜北星高校にまちづくり系列を設置	H26	長浜北星高校に福祉系列を設置	H26
定時制課程の見直し	彦根東高校の定時制課程の廃止	H26	原案どおり	H26
	彦根工業高校の定時制課程の廃止	H26	現行のまま存置	—
	長浜北星高校の定時制課程の廃止	H26	長浜北星高校の定時制課程商業科を総合学科に改編	H26
中高一貫教育校の設置	新たな設置は行わない		長浜新校の運営実績等を見定めた上で、新校設置後5年を目途に新校に設置	—
その他教育内容の充実等	キャリア教育の充実、特別支援学校との交流、教職員研修等の充実		理数教育の充実、英語教育の充実を追加	—
新しいコース等の設置	北大津高校・水口高校に国際文化コースの設置(国際学科の廃止)	H25	原案どおり先行実施	H25
	石部高校に「福祉健康コース」を設置	H25	原案どおり先行実施	H25

# 魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて

～滋賀県立高等学校再編計画(案)〔概要版〕～

滋賀県教育委員会

## 県立高等学校の現状と課題

### 社会の変化

- 少子高齢化、情報化、グローバル化、科学技術の高度化

### 98%を超える高校等への進学率

- 生徒の興味・関心、進路に対する考え方の多様化
- 依然として多い編入学、転入学を希望する生徒

### 生徒の志望や進路状況の変化

- 普通科高校への進学傾向の高まり
- 職業系専門学科から上級学校へ進学する生徒の増加

### 定時制・通信制課程の役割の変化

- 働きながら学ぶ生徒の減少
- 多様な目的やニーズを持った生徒の増加
- 職業系専門学科を希望する生徒の減少

### 中学校卒業(予定)者数の推移と学校規模の変化

- ピーク時から生徒数が約6,000人減少  
中学校卒業生数 【平成2年3月】 20,747人 → 【平成24年3月】 14,226人
- 1学年あたり5学級以下となる学校数は大幅に増加  
【平成2年度】 45校のうち4校 (8.9%) → 【平成24年度】 46校のうち21校 (45.7%)

これらの現状や課題に対応するため、  
県立高等学校の再編による教育環境の整備が  
必要となっています

## 魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて

〔基本計画〕  
平成33年度までの概ね  
10年後を見据えた考え方

### 希望する進路が実現できる学校 自己実現ができる学校

生徒が自らの興味・関心、  
進路希望等に応じた学習  
ができる学校

学校行事や部活動などの  
取組を活発に行うことが  
できる学校

生徒や教師との幅広い出  
会い、集団活動を通して互  
いに刺激し合うことがで  
きる学校

### 県立高等学校再編の基本的な考え方

#### 教育における不易の取組

- 基礎・基本の徹底
- 自主自律の精神の涵養
- 自然や地域と共生する力の育成

#### 魅力ある学校づくりの推進

- 新しいタイプの学校の設置
- 時代に対応した教育の推進等
- キャリア教育の推進
- 職業教育の充実

#### 活力ある学校づくりの推進

- 多様な学びの提供
- 定時制課程の見直し
- 中高一貫教育校の方向性
- 学校活力の維持向上

## 再編を進めるにあたって

- ◇ 地域の実情に配慮
- ◇ 計画内容と進め方を広く周知
- ◇ これまでの成果等を活かした発展的な再編
- ◇ 地域ごとの募集定員の確保
- ◇ 再編計画の円滑な実施のための計画的な予算措置

## 各地域の再編の概要

### 大津地域(大津市)

理数教育先進校を中心とした理数教育の一層の充実や新しい英語教育の取組の推進など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上を目指します。

- ◆ 瀬田工業高校(全日制)と瀬田高校(定時制)の統合、工業学科の小学科改編
- ◆ 新しい英語教育の取組の推進 ◆ SSH指定校との連携等による理数教育の充実

### 湖南地域(草津市、守山市、栗東市、野洲市)

理数教育先進校との連携や新しい英語教育の取組の推進、都市近郊型農業を特色とする農業教育など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上を目指します。

- ◆ 湖南農業高校農業学科の小学科改編 ◆ 新しい英語教育の取組の推進
- ◆ SSH指定校との連携等による理数教育の充実

### 甲賀地域(甲賀市、湖南市)

理数教育先進校との連携や新しい英語教育の取組の推進、地域の教育資源を活用した特色ある教育活動の展開など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上と学校活力の維持向上を目指します。

- ◆ 信楽高校の学科改編、県外募集、地域と連携した教育活動の展開
- ◆ 新しい英語教育の取組の推進 ◆ SSH指定校との連携等による理数教育の充実

### 湖東地域(彦根市、近江八幡市、東近江市、蒲生郡、愛知郡、犬上郡)

新しいタイプの学校の設置、理数教育先進校を中心とした理数教育の一層の充実や新しい英語教育の取組の推進、農業教育や工業教育の充実、学校統合による多様な学びの中から夢の実現を支援する新校の設置など、それぞれの再編方針に沿った再編と各学校の更なる魅力づくりを進めることで、地域全体の教育力の向上と学校活力の維持向上を図り、生徒が意欲を持って学習に取り組んでいける教育を推進します。

- ◆ 総合単位制高校の設置〔能登川高校の改編〕  
(彦根東高校定時制課程の廃止、彦根工業高校定時制課程の存置)
- ◆ 彦根西高校と彦根翔陽高校の統合による新しい学校の設置<1学年9学級>
- ◆ 八日市南高校農業学科の小学科改編
- ◆ 彦根工業高校と八幡工業高校の工業学科の小学科改編
- ◆ 新しい英語教育の取組の推進 ◆ SSH指定校との連携等による理数教育の充実

### 湖北地域(長浜市、米原市)

理数教育先進校を中心とした理数教育の一層の充実や新しい英語教育の取組の推進、農業教育の充実、学校統合による大学等への進学指導に重点を置く新校の設置、定時制課程の学科改編など、それぞれの再編方針に沿った再編と各学校の更なる魅力づくりを進めることで、地域全体の教育力の向上と学校活力の維持向上を図り、湖北の地で子どもたちが進路希望等に応じて学ぶことのできる環境をつくります。

- ◆ 長浜高校と長浜北高校の統合による新しい学校の設置<1学年8学級>
- ◆ 中高一貫教育校は、新校の運営実績等を見定めた上で、新校設置後5年を目途に新校に設置
- ◆ 長浜北星高校総合学科に福祉系列を設置(長浜高校福祉学科の廃止)
- ◆ 長浜農業高校農業学科の小学科改編
- ◆ 長浜北星高校定時制課程の総合学科への学科改編
- ◆ 新しい英語教育の取組の推進 ◆ SSH指定校との連携等による理数教育の充実

### 湖西地域(高島市)

理数教育先進校との連携や新しい英語教育の取組の推進など、各学校の更なる魅力づくりを進めることで、地域全体の教育力の向上を目指します。

- ◆ 新しい英語教育の取組の推進 ◆ SSH指定校との連携等による理数教育の充実

※ SSH(スーパーサイエンスハイスクール)・・・将来の国際的な科学技術関係人材を育成するために、先進的な理数系教育を実施する学校として文部科学省が指定し、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を行う取組。現在、膳所高校・彦根東高校・虎姫高校が指定されている。



具体的な再編内容(表)

【実施計画】  
平成25年度から概ね5年間の再編内容

新しいタイプの  
学校の設置

① 総合単位制高校の設置（能登川高校の改訂）	再編年度	平成26年度	想定する学校規模	1学年 全日制 3学級 定時制(午後・夜間) 2学級
生徒の多様な学習ニーズに対応した柔軟な学びのシステムによる、全日制および定時制(午後・夜間)併置の総合単位制高校を設置します(能登川高校の改訂)。 この高校の定時制課程では、1日4時間の学習を基本としますが、生徒一人ひとりが自分に合った時間割を組み、所属する課程・部以外の時間帯の授業を受けることにより、3年での卒業が可能です。	学科構成	普通科(単位制による全日制および定時制) 【図1】参照		

統合による  
新しい学校の設置

② 彦根西高校と彦根翔陽高校の統合による新しい学校の設置	再編年度	平成28年度	想定する学校規模	1学年 9学級
彦根西高校で培ってきた普通科と家庭学科の教育資源と彦根翔陽高校の総合学科で展開してきた普通・商業の系列とを融合させ、普通・商業・家庭の系列で編成する総合学科高校を設置します。 この高校では、多様な学びの中から夢の実現を支援する学校、多様な生徒が集い、互いに切磋琢磨しながら夢を育み学ぶ学校を目指します。	設置場所	彦根翔陽高校校地		
	学科構成	総合学科 普通・商業・家庭の系列を設置		
	統合の進め方	【図5】参照		

③ 長浜高校と長浜北高校の統合による新しい学校の設置	再編年度	平成28年度	想定する学校規模	1学年 8学級
湖北地域の既存の普通科単独校と並び立つ、大学等への進学指導に重点を置く地域の中核的な普通科単独校を設置します。 この高校では、長浜市で展開されている英語教育の成果を高校教育につなげるとともに、高等学校における新しい英語教育の全島のモデル校とし、思考力・判断力・表現力および語学力といったグローバル社会で活躍する資質と能力の育成を目指します。 また、長浜高等養護学校は、長浜北星高校校地に新築移転し、教育環境を改善するとともに、駅からの利便性が向上します。	設置場所	長浜高校校地(長浜高等養護学校は長浜北星高校校地に新築移転) 【図2】参照		
	学科構成	普通科		
	統合の進め方	【図6】参照		

地域に根ざした  
学校づくり

④ 信楽高校の学科改編等	再編年度	平成26年度	想定する学校規模	1学年 2学級
通学上の配慮が必要な地域において、多様な学びの機会を確保し、生徒の進路希望等に応じた教育を行うため、信楽高校を普通・セラミック・デザイン3系列を持つ総合学科へ改編します。 また、地場産業等の地域の教育資源を活用した教育活動の展開や近隣校との連携、県外からも生徒を受け入れることで、学校活力の維持向上等を目指します。その上で、5年を目途に検証を行い、その評価を踏まえて必要な対応を検討します。	学科構成	総合学科 普通・セラミック・デザインの3系列を設置		

職業系専門学科  
の改編等

⑤ 長浜農業高校 湖南農業高校 八日市南高校の農業学科の小学科改編	再編年度	平成26年度	想定する学校規模	長浜農業高校 1学年 3学級 湖南農業高校 1学年 3学級 八日市南高校 1学年 3学級
農業学科の小学科を分かりやすい学科体系や名称に変更するとともに、地域の特色を生かしつつ、消費者や需要者のニーズにあった農業の展開や経営の多角化(6次産業化)、大規模経営などの学習を通して、将来の本県農業の担い手としての資質と能力を育成します。また、大学等の上級学校への進学も視野に入れた教育内容の充実にも努めます。	学科構成	【図3】参照		

⑥ 瀬田工業高校 彦根工業高校 八幡工業高校の工業学科の小学科改編	再編年度	平成26年度	想定する学校規模	瀬田工業高校 1学年 7学級 彦根工業高校 1学年 6学級 八幡工業高校 1学年 6学級
細分化された電気系と情報系の小学科を統合し、分かりやすい学科体系に整理するとともに、知識や技能の高度化に対応できる基礎的・基本的な学力の確実な習得を図り、多様な工業分野で活躍できる資質と能力を育成します。 また、化学系小学科と建設系小学科を設置する学校を見直し、施設・設備の効率的な活用や集中的な投資などにより、専門学科としての教育内容の充実を図ります。	学科構成	【図4】参照		

総合学科の充実

⑦ 瀬田工業高校と瀬田高校の統合（瀬田工業高校定時制課程の設置）	再編年度	平成26年度	想定する学校規模	1学年 全日制 7学級/定時制(夜間) 1学級
同一敷地内に設置されている瀬田工業高校(全日制)と瀬田高校(定時制)を統合し、全日制・定時制を併置した工業学科として、両校が持つノウハウの蓄積や施設・設備を有効に活用し、専門学科としての教育内容の充実を図ります。併せて、定時制課程の機械科と電気科を生徒の志望の実態に応じ、機械・電気科とします。	学科構成	全日制:機械科、電気科、化学工業科/定時制:機械・電気科		

⑧ 長浜北星高校総合学科に福祉系列を設置（長浜高校福祉学科の廃止）	再編年度	平成26年度	想定する学校規模	1学年 6学級
長浜北星高校に新たに福祉系列を設置し、普通・工業・商業・福祉の多様な系列で編成する総合学科高校として教育内容の充実を図ります。併せて、長浜高校の福祉学科は廃止します。 福祉系列では、福祉に関する基礎的・基本的な学習を通して、将来、福祉や看護、医療分野などで地域に貢献できる資質と能力を育成します。	学科構成	総合学科 普通・工業・商業・福祉の系列を設置		

定時制課程の見直し

⑨ 長浜北星高校定時制課程の学科改編	再編年度	平成26年度	想定する学校規模	定時制(夜間) 1学年 1学級
3年での卒業や転編入学を容易にするなど、生徒の多様なニーズに柔軟に対応できる教育課程が編成できるよう、長浜北星高校の定時制課程を学年制の商業学科から単位制の総合学科へ改編します。	学科構成	総合学科 普通・商業の系列を設置		

⑩ 彦根東高校定時制課程の廃止（彦根工業高校定時制課程は現行どおり存置）	再編年度	平成26年度	想定する学校規模	なし
普通科の総合単位制高校を湖東地域に設置することに伴い、平成26年度入学者選抜から、彦根東高校の定時制課程の募集を停止します。平成25年度以前に入学した生徒については、入学時に示された教育課程を履修することを保証し、平成25年度入学生が卒業する平成29年3月まで彦根東高校の定時制課程は存続します。	学科構成	なし		

【図1】 ① 総合単位制高校の設置(総合単位制高校の改組)

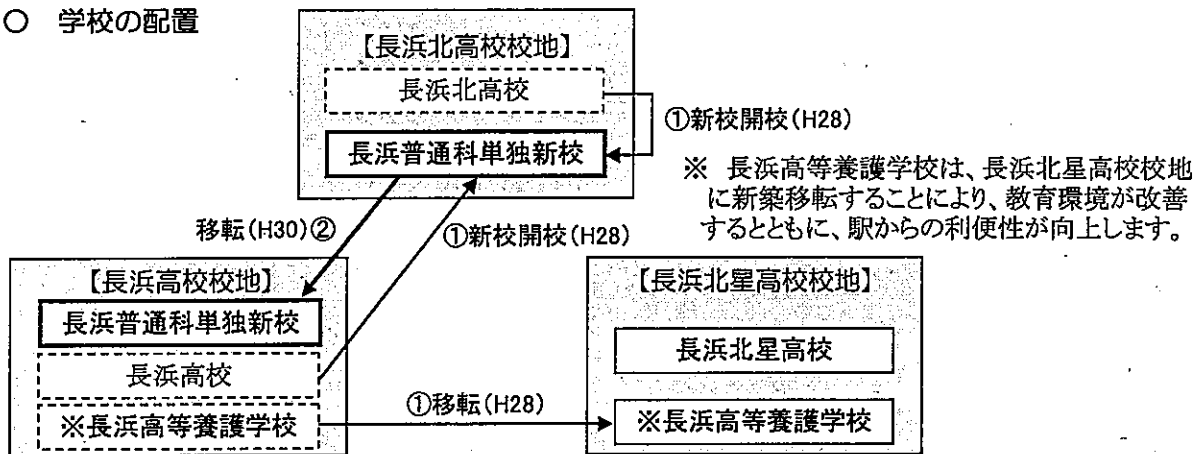
○ 全日制と定時制併置の総合単位制高校の授業展開のイメージ

	午前(8:50~12:40)				午後(13:10~17:00)				夜間(17:30~21:00)			
時限	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
授業展開	全日制				併修							
			併修		定時制(午後部)				併修			
							併修		定時制(夜間部)			

興味・関心や進路希望等に応じて、全日制と定時制の授業を相互に学ぶことができます(併修)。例えば、定時制(午後部)の生徒は、原則5~8時限の授業を受けます。さらに、全日制の3・4時限、定時制(夜間部)の9・10時限の講座を選択することもでき、3年での卒業が可能です。

【図2】 ③ 長浜高校と長浜北高校の統合による新しい学校の設置

○ 学校の配置



【図3】 ⑤ 農業学科の小学科改訂

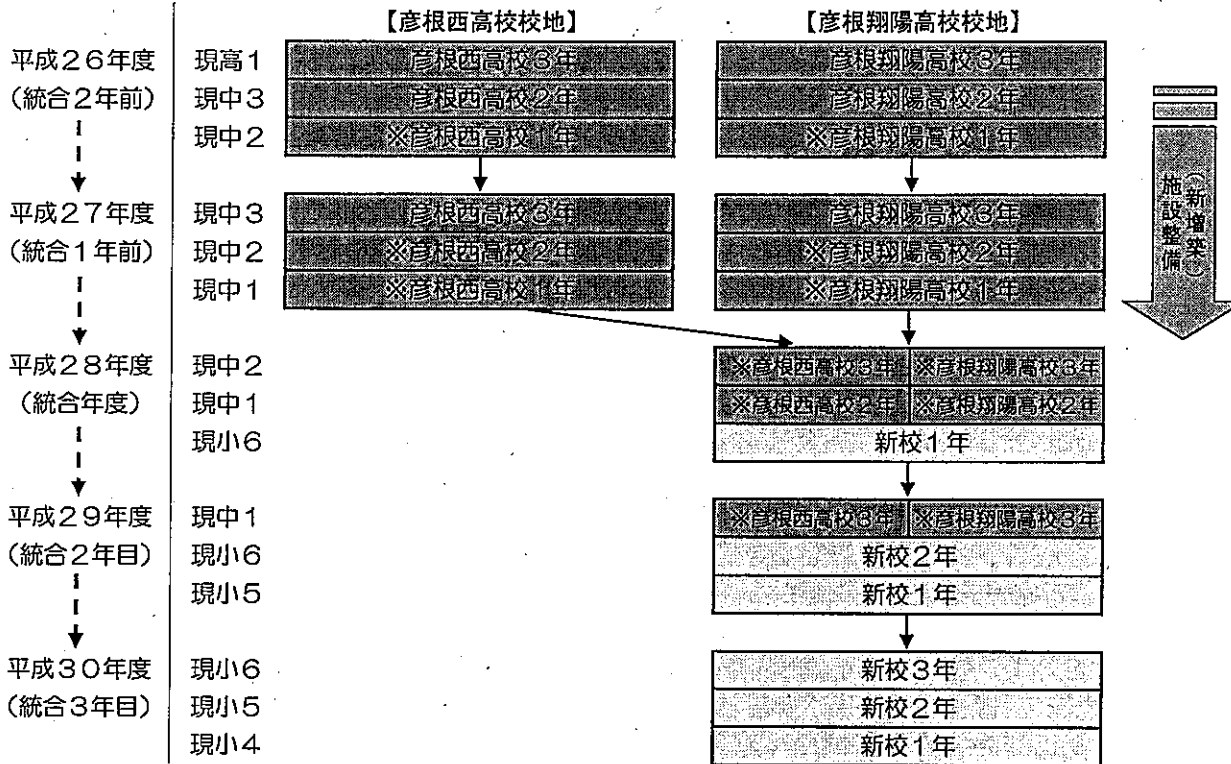
【改編前】	【改編後】
<b>【長浜農業高校】</b> 生物活用科 ガーデン科 食品科学科 環境デザイン科	農業科 食品科 園芸科
<b>【湖南農業高校】</b> 農業技術科 園芸工学科 食品化学科 環境緑地科	農業科 食品科 花緑科
<b>【八日市南高校】</b> 農業技術科 食品流通科 緑地デザイン科	農業科 食品科 花緑デザイン科

【図4】 ⑥ 工業学科の小学科改訂

【改編前】	【改編後】
<b>【瀬田工業高校】</b> 機械科 電気科 情報電子科 化学工業科	機械科 電気科 化学工業科
<b>【彦根工業高校】</b> 機械科 電気科 情報技術科 建設科 環境化学科	機械科 電気科 建設科
<b>【八幡工業高校】</b> 機械科 電気科 情報電子科 建築科 環境化学科	機械科 電気科 環境化学科

【図5】② 彦根西高校と彦根翔陽高校の統合による新しい学校の設置

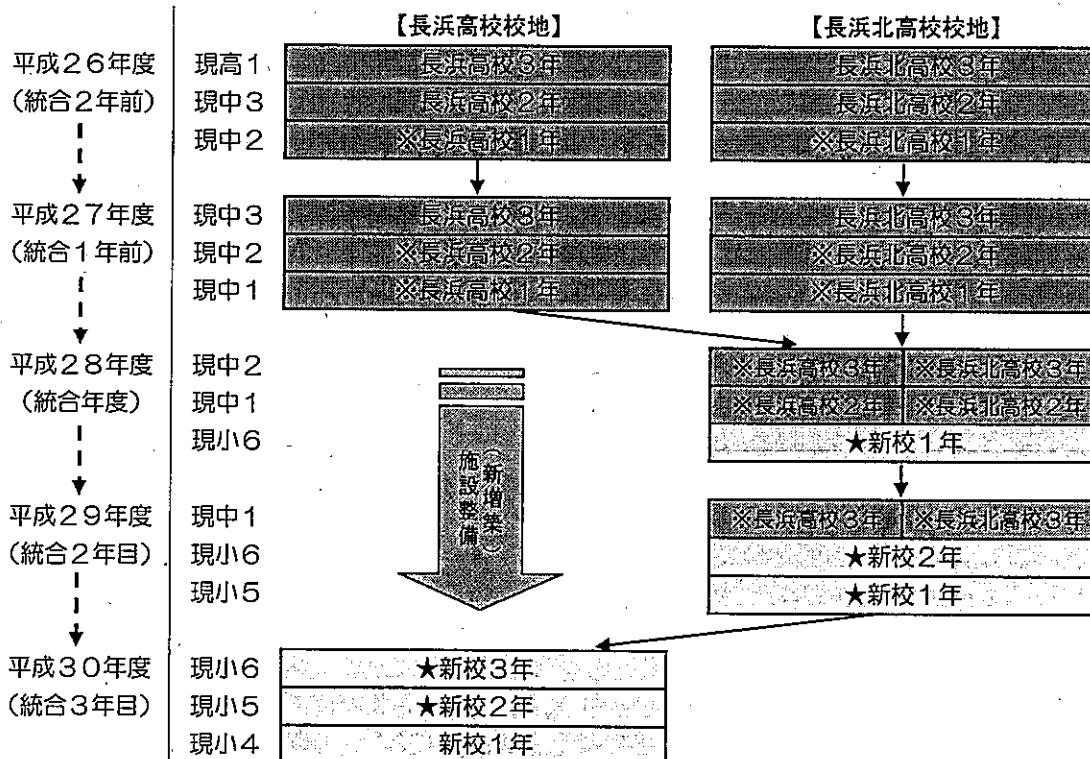
○ 統合の進め方



※ 平成26年度および平成27年度に彦根西高校および彦根翔陽高校に入学した生徒は、平成28年度から全員が現彦根翔陽高校校地で学習します。(施設の整備状況により、変更となる場合があります。)

【図6】③ 長浜高校と長浜北高校の統合による新しい学校の設置

○ 統合の進め方



※ 平成26年度および平成27年度に長浜高校および長浜北高校に入学した生徒は、平成28年度から全員が現長浜北高校校地で学習します。

★ 平成28年度および平成29年度に新校に入学した生徒は、平成30年度から現長浜高校校地で学習します。(施設の整備状況により、変更となる場合があります。)

魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて

～滋賀県立高等学校再編基本計画～

---

---

( 案 )

平成 24 年 10 月

滋賀県教育委員会

## 目 次

I	計画の策定にあたって	1
1	計画策定の背景と趣旨	1
2	基本計画の考え方	2
II	県立高等学校の現状と課題	3
1	社会の変化	3
2	生徒の進路希望や課題の多様化	3
(1)	生徒の多様化	3
(2)	生徒の志望や進路状況の変化	3
(3)	定時制・通信制課程の役割の変化	3
3	生徒数の推移と高等学校の規模の変化	4
(1)	中学校卒業（予定）者数の推移	4
(2)	生徒数の増減に伴う高等学校の規模の変化	4
4	教育環境の整備	4
III	魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて	5
1	魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて	5
2	県立高等学校再編の基本的な考え方	6
(1)	教育における不易の取組	6
(2)	魅力ある学校づくりの推進	6
(3)	活力ある学校づくりの推進	7
IV	再編を進めるにあたって	9
資 料		11
○	用語の説明	12
○	参考資料	15

## I 計画の策定にあたって

### 1 計画策定の背景と趣旨

本県では、生徒のニーズや時代の要請等に応じ、これまで県立高等学校の学科改編や特色ある学科やコースの設置をはじめ、中高一貫教育校の設置、全県一区制度の導入、入学者選抜制度の改善など、様々な県立高等学校改革に取り組んできました。

一方、情報分野をはじめとする科学技術の進展や、経済のグローバル化、少子高齢化など、社会が一層大きく変化する中で、生徒の進路等に対する考え方や課題の多様化、さらには規模の小さな学校の増加など、県立高等学校の教育環境は大きく変化しています。

このため、子どもたちへ豊かな教育環境を提供することを第一として、各学校における教育内容を充実させることは言うまでもなく、今ある教育資源を最大限活用しながら、教育予算の効果的な投資などにより、教育内容や教育環境を一段と向上させることが必要となっています。

こうした状況を受け、教育委員会では、平成20年7月に「県立学校のあり方検討委員会」を設置し、6回の審議を経た上で、平成21年3月に、県立高等学校の課程、学科、適正な規模・配置のあり方などについての「報告」をいただきました。

また、平成22年9月には、「第23期滋賀県産業教育審議会」から、これからの時代や社会に対応した本県職業系の学科や職業教育の方向性、本県産業の振興に寄与する人材育成などに関する「答申」をいただきました。

さらに、平成22年8月と11月に開催した「魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けた意見を聴く会」などで、再編の必要性および教育委員会の再編に対する基本的な考え方をお示しし、県民の皆さんから様々な御意見をいただきました。

そして、これらの「報告」や「答申」における再編に関する方向性、さらには、県民の皆さんからいただいた御意見等を踏まえ、平成23年7月に滋賀県立高等学校再編計画（原案）を公表し、県民政策コメントを実施するほか、県民説明会や「地域の高等学校教育のあり方に係る意見を聴く会」などを開催し、県民の皆さんや教育関係者の皆さんなどから様々な御意見をいただきました。また、平成24年8月には、「第24期滋賀県産業教育審議会」から、社会の変化に対応した福祉科教育のあり方についての「答申」をいただいたところです。

県教育委員会では、これらの御意見等を踏まえ、「魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて～滋賀県立高等学校再編計画～」(以下「再編計画」という。)を策定し、これまで以上に魅力と活力ある県立高等学校の実現を目指してまいります。

## 2 基本計画の考え方

この滋賀県立高等学校再編基本計画（以下「基本計画」という。）は、平成33年度までの概ね10年後を見据えた、長期的かつ全県的な視野に立った県立高等学校再編の基本的な考え方を示すものです。

なお、具体的な再編内容については、別途作成する実施計画で示します。

## Ⅱ 県立高等学校の現状と課題

### 1 社会の変化

これからの社会は、少子化・高齢化をはじめ、情報化、グローバル化、科学技術の高度化が一層進展し、ますます複雑化・多様化が進むと考えられ、それに伴い家族形態や産業構造など、社会や経済が大きく変化することが予測されます。

こうした中、学校教育には普遍的な教育理念を大切にしつつ、社会の変化に合わせて対応していくことが常に求められています。

### 2 生徒の進路希望や課題の多様化

#### (1) 生徒の多様化

本県の平成 24 年 3 月中学校卒業者の高等学校等への進学率は 98.9%で、中学校卒業者のほとんどが高等学校に進学するとともに、複雑・多様化する社会状況を背景に、生徒の興味・関心や進路に対する考え方が一層多様化しています。また、自らの目標に向かって積極的に学校生活を送ろうとする生徒がいる一方で、目的意識が希薄である、人間関係づくりが苦手であるなど、様々な生徒が高等学校に入学するようになっています。

県立高等学校の中途退学者数は、ここ数年減少傾向にあるものの、400～500 人台で推移しており、退学の理由としては、進路変更や学校生活・学業不適應などが多くを占めています。こうしたことから、編入学による学び直しや転入学を希望する生徒は依然として多い状況にあります。

このような中、生徒の多様なニーズ等に応える学習内容等の充実や、様々な学習歴を持つ生徒に対応した取組が必要となっています。

#### (2) 生徒の志望や進路状況の変化

中学生の高等学校への志望状況を見ると、大学等への進学を見据えて普通科へ進学する傾向が高まるとともに、職業系専門学科の高等学校においても、上級学校へ進学する生徒が増加しており、高等学校卒業者の半数以上が大学等の上級学校へ進学する状況にあります。

このような中、勤労観・職業観の育成を図るとともに、職業系専門学科から上級学校への進学も視野に入れた教育内容の充実などが課題となっています。

#### (3) 定時制・通信制課程の役割の変化

定時制や通信制の高等学校は、従来の勤労青少年のための学校という色合いが薄れ、中途退学者や不登校経験のある生徒をはじめ、多様な生徒が入学しており、学び直しの学校としての役割が強まっています。

ここ数年の定員充足状況を見ると、通信制課程ではほぼ充足しているものの、定時制課程では、地域、学科、昼間・夜間の別により大きな差があり、特に職業系専門学



科を希望する生徒は少なくなっています。

このような状況を考え合わせると、定時制課程については必ずしも職業系専門学科である必要はないと考えられ、生徒のニーズに対応した見直しが必要となっています。

### 3 生徒数の推移と高等学校の規模の変化

#### (1) 中学校卒業（予定）者数の推移

県全体の中学校卒業生数は、平成2年3月卒業の20,747人をピーク（昭和39年に次ぐ戦後2番目）に減少傾向にあり、平成24年3月卒業生は14,226人と、ピーク時に比べ6,521人減少しています。

今後、全県的には増加傾向を示したのち、現在の小学校5年生が卒業する平成29年3月を境に、減少に転じていくと予測されます。

また、中学校卒業予定者数を地域別に見てみると、湖南地域（草津市・栗東市・守山市・野洲市）では今後も増加を続ける一方、それ以外の地域では、横ばいまたは減少傾向が予測されます。

#### (2) 生徒数の増減に伴う高等学校の規模の変化

県内には、中学校卒業生数の減少により、すでに規模の小さな学校が多くを占める地域があります。こうした地域でさらに生徒数が減少していくと、学校の小規模化が一層進むことが予測されます。

一方、中学校卒業生数の増加が続く地域では、今後とも規模の大きな学校が多い状況が続くと見込まれます。

こうした中、多様な生徒との出会いや互いに切磋琢磨する機会の確保、部活動や学校行事などの充実、進路希望等に応じた教育の提供、生徒と教員とのコミュニケーションの確保など、高校教育において考慮しなければならない様々な要素を踏まえながら、学校の教育力が高まるよう学校の規模や配置を見直す必要があります。

### 4 教育環境の整備

生徒に対し、時代に対応した豊かな教育環境を提供するためには、施設・設備の修繕、図書や教材機器の購入、備品などの更新・修繕が必要です。

このため、限られた教育資源を最大限に活用しつつ、より効果的・効率的な学校運営を行うとともに、教育予算の効果的な投資などにより、教育環境の整備を図ることが必要となっています。

### Ⅲ 魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて

#### 1 魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて

高等学校には、生徒に一般的な教養を高め、専門的な知識、技術および技能を習得させるとともに、その個性に応じて将来の進路を決定し、自ら意欲を持って学び考える力、豊かな人間性や創造性などを養い、変革の時代にあっても自ら未来を切り拓く力をはぐくむことが求められています。

高等学校がこのような役割を果たすには、社会の変化や生徒の多様化、生徒数の減少への対応など、教育内容の充実とともに教育活動が効果的なものとなるよう教育環境を整えていくこと～魅力と活力ある学校づくり～が必要です。

魅力と活力ある学校とは、生徒が自らの興味・関心、進路希望等に応じた学習ができる学校であり、学校行事や部活動などの取組を活発に行うことができたり、多様な生徒や教師との幅広い出会い、集団活動を通して互いに刺激し合うことができる学校であり、希望する進路が実現できる学校、自己実現ができる学校です。

このため、いつの時代においても変わることのない普遍的な教育理念を大切にしつつ、次の視点で高等学校の再編に取り組みます。

#### 魅力ある学校づくり（多様な学校選択肢等の提供）

生徒の興味・関心や進路希望等に応じた高等学校教育を提供するため、高等学校に対する県民の期待、社会の要請などを踏まえた上で、教育内容の質的充実を図り、魅力ある高等学校教育を展開します。

#### 活力ある学校づくり（豊かな教育環境の提供）

多様な選択科目の開設をはじめ、部活動や学校行事などの集団活動の活性化、施設や設備の効果的・効率的な利用等の観点から、県立高等学校の活力の維持向上を図ります。

## 2 県立高等学校再編の基本的な考え方

高等学校に入学するすべての子どもたちが、充実した学校生活を送る中で、希望する進路を実現し、また自己実現を図ることができるよう、次の考え方で県立高等学校の再編を進めます。

### (1) 教育における不易の取組

子どもたちが、社会の中で自らの役割を果たし、信頼されながら人生を歩むことができるよう、自分自身を鍛え伸ばし、社会と共同できる資質を育てます。

#### ア 基礎・基本の徹底

自ら学び考える力や社会の変化に対応できる資質や能力を育成するため、そのベースとなる基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得に向けて、基礎・基本の徹底を図ります。

#### イ 自主自律の精神の涵養

学級活動や部活動、学校行事などの集団活動の中で、自ら考え行動することにより、他者と豊かにコミュニケーションを図ろうとする態度や、社会生活を送るうえで持つべき規範意識などの自律性や社会性を育みます。

#### ウ 自然や地域と共生する力の育成

滋賀県が有する豊かな自然、歴史、文化、産業、地域コミュニティなどの様々な地域資源を活かした教育活動を展開し、自分たちが育ってきた地域に愛着を持ち、社会の一員として地域に貢献しようとする態度を養います。

### (2) 魅力ある学校づくりの推進

社会の進展、地域や産業界の要請などを踏まえつつ、生徒自らの興味・関心や進路希望等に応じて、学びたい教科や科目等を学習し、将来の生活や職業に役立つ知識・技能を積極的に学ぶことができるよう、すべての高等学校においてそれぞれの教育目標等に応じた魅力ある学校づくりに取り組みます。

#### ア 新しいタイプの学校の設置

生徒の多様な学習ニーズや進路希望等に対応し、生徒一人ひとりの個性や能力に応じた教育の推進を図る新しいタイプの高等学校として、単位制による全日制課程および定時制課程を併置した総合単位制高等学校を設置します。

#### イ 時代に対応した教育の推進等

生徒の多様化を踏まえ、各学校の教育目標に応じた教育内容や指導方法の充実・改善を一層図ります。

また、将来の科学技術を支える人材やグローバル社会で活躍する人材の育成など、

これからの社会の進展を見据えた教育内容の充実等を図ります。

#### ウ キャリア教育の推進

生徒に勤労観・職業観を身につけさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育むため、キャリア教育の視点を踏まえた教育内容の充実等を図ります。

#### エ 職業教育の充実

学校の教育資源等を活かした特色化を一層推進するとともに、施設・設備の効率的な活用や集中的な投資などにより専門性を維持向上できるよう、職業系専門学科の集約化を図ります。

また、細分化されすぎている小学科を整理・統合し、知識や技能の高度化に対応できる基礎的・基本的な学習等を重視するとともに、学習内容を理解しやすい名称に改めます。

高等学校段階での職業教育をもとに、上級学校へ進学してさらに高度な知識・技能を身につけるという専門教育や資格取得のあり方を踏まえ、学科の改編や教育内容の充実を図ります。

#### オ 多様な学びの提供

多様な学びの機会を確保し、生徒の進路希望等に応じた教育を行うため、総合学科の設置や教育内容の充実を図ります。

#### カ 定時制課程の見直し

定時制課程の役割の変化や、単位制による全日制課程を併置した新たな総合単位制高等学校を設置することなどを踏まえ、地域の実情等に配慮しながら定時制課程の配置を見直します。

また、3年での卒業や転編入学を容易にするなど、生徒の多様なニーズに柔軟に対応できる教育課程が編成できるよう学科の改編等を行います。

#### キ 中高一貫教育校の方向性

本県では、平成15年度に新たな学校選択肢を提供することを目的として、併設型中高一貫教育校を3校設置し、6年間の特色ある教育課程のもとで、個性や創造性を伸ばす教育を展開しています。一方、新たな中高一貫教育校を設置することは、地域の中学校の学級編成などに及ぼす影響も大きいと考えられることから、当面は既設3校としながら、再編による生徒の動向を見据えつつ検討を行っていきます。

### (3) 活力ある学校づくりの推進

学校は生徒が社会でより良い人間関係を結び、共同で仕事をするための資質を育てるなど、人と人との共同に向けた基盤をつくる場です。共同体においてそれぞれの個人が責任を持つために、自分自身を鍛え伸ばすこと（主体性）、共同できる資質を育

てること（社会性）が大切です。

こうした資質や能力は、授業や学校行事、部活動など教育活動のすべての中で育まれていくと考えられます。

このため、自分の興味・関心や意欲をかき立てるものと出会い、様々な考え方や能力を持った友人との出会いなど、より多くの教育プログラムや教員、生徒と出会える環境づくりに取り組みます。

#### ア 標準とする学校規模

高等学校全日制課程の学校規模については、県立学校のあり方検討委員会の報告を踏まえ、多様な科目の開設など幅広い教育課程の編成、生徒が切磋琢磨する機会の確保、学校行事・部活動など集団活動の円滑な実施など様々な要素を勘案して、1学年あたり概ね6学級から8学級を標準とします。

#### イ 学校の統合等

現在、通学区域が全県一区制のもとであっても、普通科で8割程度の中学生が地域の高等学校に進学する状況にあることなどから、地域ごとの生徒数の推移を見据えつつ、標準を下回る規模の学校が多くを占める地域において、学校の配置バランス、学科の特性、地理的条件などの地域性、学びの多様性の確保等を考慮しながら、学校の統合等を行い、地域全体の学校活力の維持向上を図ります。

## VI 再編を進めるにあたって

再編を進めるにあたっては、次のことに留意しながら進めていきます。

- 1 全県一区制度のもとであっても、全日制高等学校の普通科進学者の約8割が地域の高等学校に進学していること等を踏まえ、それぞれの地域の実情に配慮しながら進めます。
- 2 再編計画の実施に際して混乱が生じないように、計画内容と進め方を県民に広く周知しながら進めます。
- 3 学校の統合にあたっては、対象校のこれまでの特色や伝統、成果等を新しい学校における教育活動の中に活かすなど、発展的な再編になるよう取り組みます。
- 4 県立高等学校の募集定員については、地域ごとの中学校卒業予定者数や進学志望の動向などを踏まえ、それぞれの年度において、地域ごとの定員を確保していきます。
- 5 再編計画の円滑な実施を図るため、教育環境の整備に伴う経費について、計画的に予算措置を行います。



# 資 料

○ 用語の説明	12
○ 参考資料	
1 県立学校一覧（平成 24 年度）	15
2 県立高等学校課程・学科地域別配置一覧（平成 24 年度）	16
3 中学校卒業（予定）者の推移（全県）	17
4 中学校卒業（予定）者の推移（地域別）	18
5 中学校卒業生数、高校等進学志望率、高校等進学率、就職率推移	19
6 全日制高等学校における普通科・専門学科・総合学科別の進路状況	20
7 県立高等学校（全日制）の第 1 学年募集定員による学校規模（地域別）	21
8 高等学校（全日制）第 1 学年募集定員の学級数別学校数の全国比較	22



## 用語の説明

### 【高等学校の区分】

高等学校は、授業を行う時間帯や方法などの違いにより「全日制課程」、「定時制課程」または「通信制課程」に区分され、さらに学年による教育課程の区分を設ける「学年制」とその区分を設けない「単位制」に分けられます。

また、教育内容により「普通科」、「専門学科」（農業学科、工業学科、商業学科、理数学科、音楽学科等）および「総合学科」の3つの学科に区分されます。

### 【課程の区分】

#### ＜全日制課程＞

全日制課程は、週当たり 30 単位時間を標準として授業を行う課程で、修業年限は3年となっています。

滋賀の県立高等学校で全日制課程を置く学校は 46 校で、普通科、専門学科 (10 学科)、総合学科の計 12 学科が設置されています。

#### ＜定時制課程＞

定時制課程は、夜間その他特別の時間帯に授業を行う課程で、修業年限は3年以上となっています。

卒業するまでに通常4年かかりますが、学校によっては、併修や学校以外で単位を修得する制度等を活用することにより、3年で卒業することも可能です。

県立高等学校で定時制課程を置く学校は、5校1分校で、そのうち全日制との併置校は3校、単独校は2校、他の高等学校と同一敷地内に設置されている分校が1校となっています。

学科としては、普通科と専門学科（工業学科、商業学科）が設置されています。

#### ＜通信制課程＞

通信制課程は、主に通信による教育を行う課程で、修業年限は3年以上となっています。

学びの形態としては、自主学習により自宅で勉強してレポートを作成し、その添削指導を受けることを中心に学習を進めることを基本とします。同時に、月に数回程度（2週間に1回程度）は登校し、面接指導（スクーリング）を受け、添削指導、面接指導、試験等を通じて単位が認定されます。

県内には大津清陵高等学校に通信制の普通科が設置されています。

## 【学年制と単位制】

学年制は、学年ごとに定められた科目等を履修し、決められた単位数を修得した場合に次学年に進む方式で、年度末に各学校が個々の生徒に対して進級の認定（認定されないと原級留置（いわゆる「留年」））を行います。最終学年の課程を修了し、全課程の修了が認められれば卒業することができます。

単位制は、学年による教育課程の区分を設けない方式で、原級留置の考え方はとりません。一定期間（修業年限は全日制課程では3年、定時制課程・通信制課程では3年以上）在学し、必要な単位修得などの条件を満たし、全課程を修了したと認められれば卒業することができます。

従前は「学年制」による教育のみでしたが、昭和63年度に「単位制」による教育が定時制課程と通信制課程において認められ、さらに平成5年度には全日制課程にも認められました。

## 【学科・コース・系列】

### <学科>

学科は、中学校教育の基礎の上に、さらに幅広い教養を身に付けることをねらいとする「普通科」と、専門に関する知識・技術を身につけることをねらいとする「専門学科」、普通科と専門学科の両方の内容を幅広く学習できる「総合学科」に大別されます。

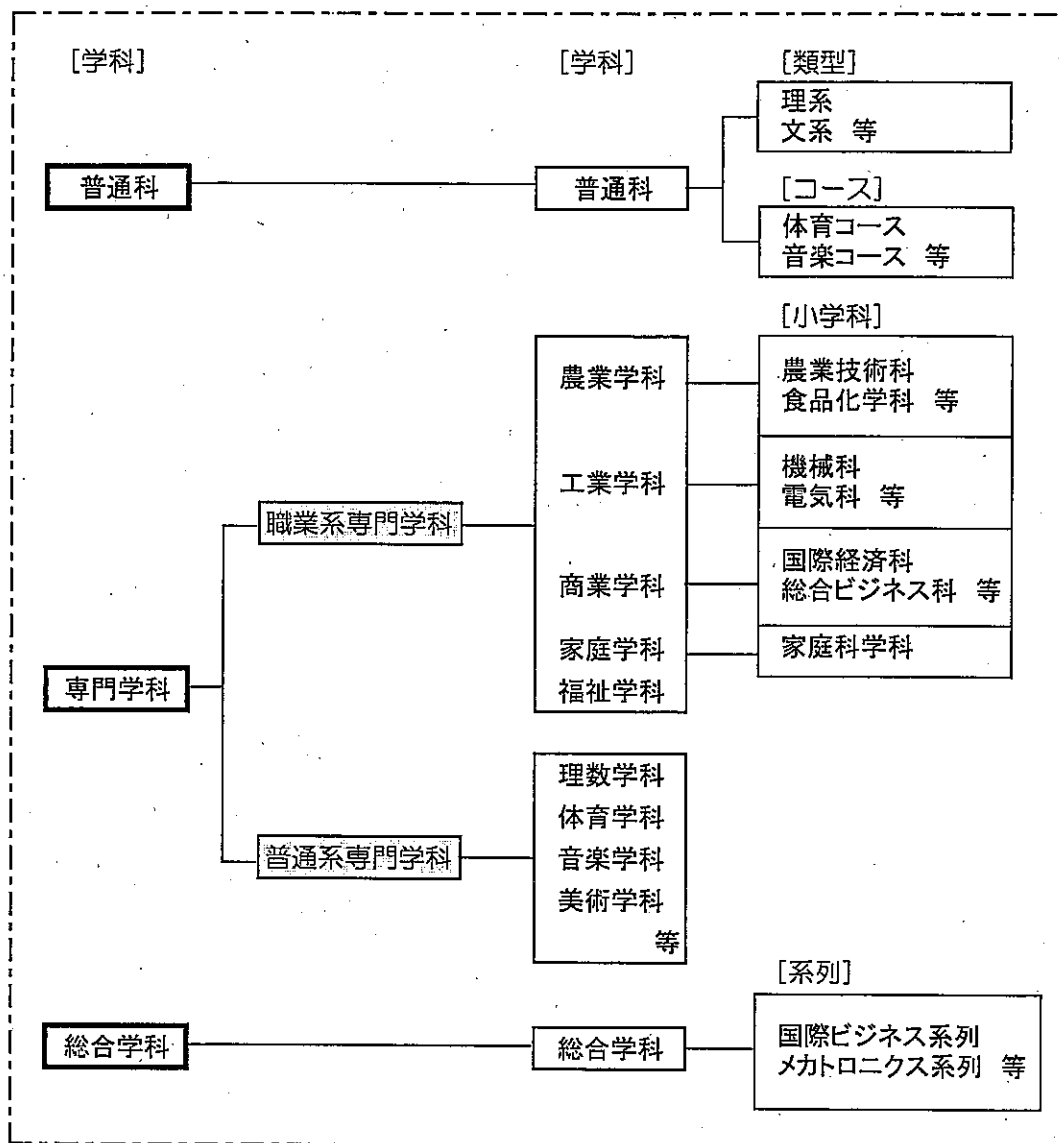
また、「普通科」「農業学科」のようないわゆる「大学科」とその下位で細分化される「機械科」「セラミック科」等のいわゆる「小学科」とを区別して使用しています。

専門学科は、農業学科、工業学科、商業学科、家庭学科、福祉学科等のような「職業教育を主とする専門学科」と、理数学科、音楽学科、体育学科、美術学科、国際学科等のような「普通教育の特定分野をより高度に拡充させた専門教育を行う学科」に区分され、本計画ではそれぞれ「職業系専門学科」「普通系専門学科」と呼びます。

### <コース・系列>

普通教科を学びながら興味・関心のある特定の分野を深く学習するために、一定の系統だった特色をもった科目を配列して教育課程を編成したものをコースといいます（体育コース、音楽コースなど）。

系列とは、総合学科において、生徒自身の興味・関心や進路の方向に沿った科目履修ができるように、相互に関連する普通科目や専門科目を科目群としてまとめたものをいいます。



### 【総合単位制高等学校】

総合単位制高等学校とは、全日制課程と定時制課程（午後部・夜間部など）が併置された単位制による高等学校をいいます。

定時制課程では、1日4時間の学習を基本としますが、生徒一人ひとりが自分に合った時間割を組み、所属する課程・部以外の授業を受けることにより、3年で卒業することが可能です。

参考資料

1 県立学校一覧(平成24年度)

学校名	学科名	科名	学級数			学科計	学校計
			1年	2年	3年		
県立高校全日制							
膳所	普通	普通	10	10	10	30	33
		理数 理数	1	1	1	3	
堅田	普通	普通	5	5	6	16	16
東大津	普通	普通	10	10	10	30	30
北大津	普通	普通	5	4	4	13	16
		国際 国際文化	1	1	1	3	
大津	普通	普通	6	6	6	18	24
		家庭 家庭科学	2	2	2	6	
石山	普通	普通	8	8	8	24	27
		音楽 音楽	1	1	1	3	
瀬田工業	工業	機械	3	3	3	9	21
		電気	1	1	1	3	
		情報電子	2	2	2	6	
		化学工業	1	1	1	3	
大津商業	商業	総合ビジネス	5	5	5	15	21
		情報システム	2	2	2	6	
草津東	普通	普通	7	7	8	22	25
		体育 体育	1	1	1	3	
草津	普通	普通	6	6	6	18	18
玉川	普通	普通	7	6	8	21	21
湖南農業	農業	農業技術	1	1	1	3	12
		園芸工学	1	1	1	3	
		食品化学	1	1	1	3	
		環境緑地	1	1	1	3	
守山	普通	普通	6	6	6	18	18
守山北	普通	普通	5	4	5	14	14
栗東	普通	普通	6	5	5	16	19
		美術 美術	1	1	1	3	
国際情報	総合	総合	6	6	6	18	18
野洲	普通	普通	5	4	4	13	13
水口	普通	普通	5	5	6	16	19
		国際 国際文化	1	1	1	3	
水口東	普通	普通	6	6	6	18	18
甲南	総合	総合	3	3	3	9	9
		普通	1	1	1	3	
信楽	工業	セラミック	1	1	1	3	9
		デザイン	1	1	1	3	
石部	普通	普通	4	4	4	12	12
甲西	普通	普通	6	6	8	20	20
彦根東	普通	普通	8	8	8	24	24
河瀬	普通	普通	6	6	6	18	18
彦根西	普通	普通	2	2	2	6	12
		家庭 家庭科学	2	2	2	6	
彦根工業	工業	機械	2	2	2	6	19
		電気	1	1	1	3	
		情報技術	1	1	1	3	
		建築・設備			1	1	
		都市工学			1	1	
		建設	1	1		2	
彦根翔陽	総合	総合	5	5	5	15	15
		普通	7	6	6	19	
八幡工業	工業	機械	2	2	2	6	18
		電気	1	1	1	3	
		情報電子	1	1	1	3	
		建築	1	1	1	3	
		環境化学	1	1	1	3	
八幡商業	商業	商業	3	3	3	9	15
		国際経済	1	1	1	3	
八日市	普通	普通	6	6	7	19	19
能登川	普通	普通	4	4	4	12	12
八日市南	農業	農業技術	1	1	1	3	9
		食品流通	1	1	1	3	
		緑地デザイン	1	1	1	3	
日野	総合	総合	4	4	4	12	12
愛知	普通	普通	3	3	3	9	9

学校名	学科名	科名	学級数			学科計	学校計
			1年	2年	3年		
長浜	普通	普通	4	4	4	12	15
		福祉 福祉	1	1	1	3	
長浜北	普通	普通	5	5	6	16	16
長浜農業	農業	生物活用	1	1	1	3	12
		ガーデン	1	1	1	3	
		食品科学	1	1	1	3	
		環境デザイン	1	1	1	3	
長浜北星	総合	総合	5	4	5	14	14
伊吹	普通	普通	4	4	4	12	12
米原	普通	普通	5	5	5	15	18
		理数 理数	1	1	1	3	
虎姫	普通	普通	5	5	5	15	15
伊香	普通	普通	4	4	4	12	12
高島	普通	普通	6	7	7	20	20
安曇川	普通	普通	2	2	2	6	18
		総合	4	4	4	12	
合計			262	256	268	788	786

学校名	学科名	科名	学級数				学校計
			1年	2年	3年	4年	
県立高校定時制							
大津清陵	普通	普通	2	2	2	2	8
大津清陵馬場分校	普通	普通	1	1	1	1	4
瀬田	工業	機械	1	1	1	1	8
		電気	1	1	1	1	
彦根東	普通	普通	1	1	1	1	4
彦根工業	工業	機械	1	1	1	1	4
長浜北星	商業	商業	1	1	1	1	4
合計			8	8	8	8	32

学校名	学科名	科名	各年の定員			
県立高校通信制						
大津清陵	普通	普通	320人			

学校名	学級数			学校計		
	1年	2年	3年			
県立中学校						
河瀬中学校	2	2	2	6		
守山中学校	2	2	2	6		
水口東中学校	2	2	2	6		
合計			6	6	6	18

学校名	障害種別	設置部				
		幼	小	中	高	専攻科
特別支援学校						
盲学校	視覚	○	○	○	○	○
聾話学校	聴覚	○	○	○	○	
北大津養護学校	知的・肢体		○	○	○	
鳥居本養護学校	病弱		○	○	○	
長浜養護学校	知的・肢体		○	○	○	
長浜高等養護学校	知的				○	
草津養護学校	知的・肢体		○	○	○	
守山養護学校	病弱		○	○		
甲南高等養護学校	知的				○	
野洲養護学校	知的・肢体		○	○	○	
三雲養護学校	知的・肢体		○	○	○	
新旭養護学校	知的・肢体		○	○	○	
八日市養護学校	知的・肢体		○	○	○	
甲良養護学校	知的・肢体		○	○	○	

## 2 県立高等学校課程・学科地域別配置一覽（平成24年度）

### 【全日制課程】

		大津	湖南	甲賀	湖東	湖北	湖西	学校数	計
普通科単独		堅田 東大津	草津 玉川 守山 守山北 野洲	石部 甲西 水口東	彦根東 河瀬 八日市 能登川 愛知 八幡	長浜北 伊吹 虎姫 伊香	高島	21	33
普通科と専門 学科の併設	農業							0	
	工業			信楽				1	
	商業							0	
	家庭	大津			彦根西			2	
	福祉					長浜		1	
	音楽	石山						1	
	理数	膳所				米原		2	
	体育		草津東					1	
	美術		栗東					1	
	国際	北大津		水口				2	
総合						安曇川	1		
農業科単独			湖南農		八日市南	長浜農		3	3
工業科単独					彦根工 八幡工			3	3
商業科単独					八幡商			2	2
総合学科単独			国際情報	甲南	日野 彦根翔陽	長浜北星		5	5
学校数		8	9	6	13	8	2	46	46

### 【定時制課程】

		大津	湖南	甲賀	湖東	湖北	湖西	学校数	計
普通科単独	大津清陵（昼） 大津清陵馬場※				彦根東			3	3
工業科単独	瀨田				彦根工			2	2
商業科単独						長浜北星		1	1
学校数		3	0	0	2	1	0	6	6

※大津清陵馬場は分校

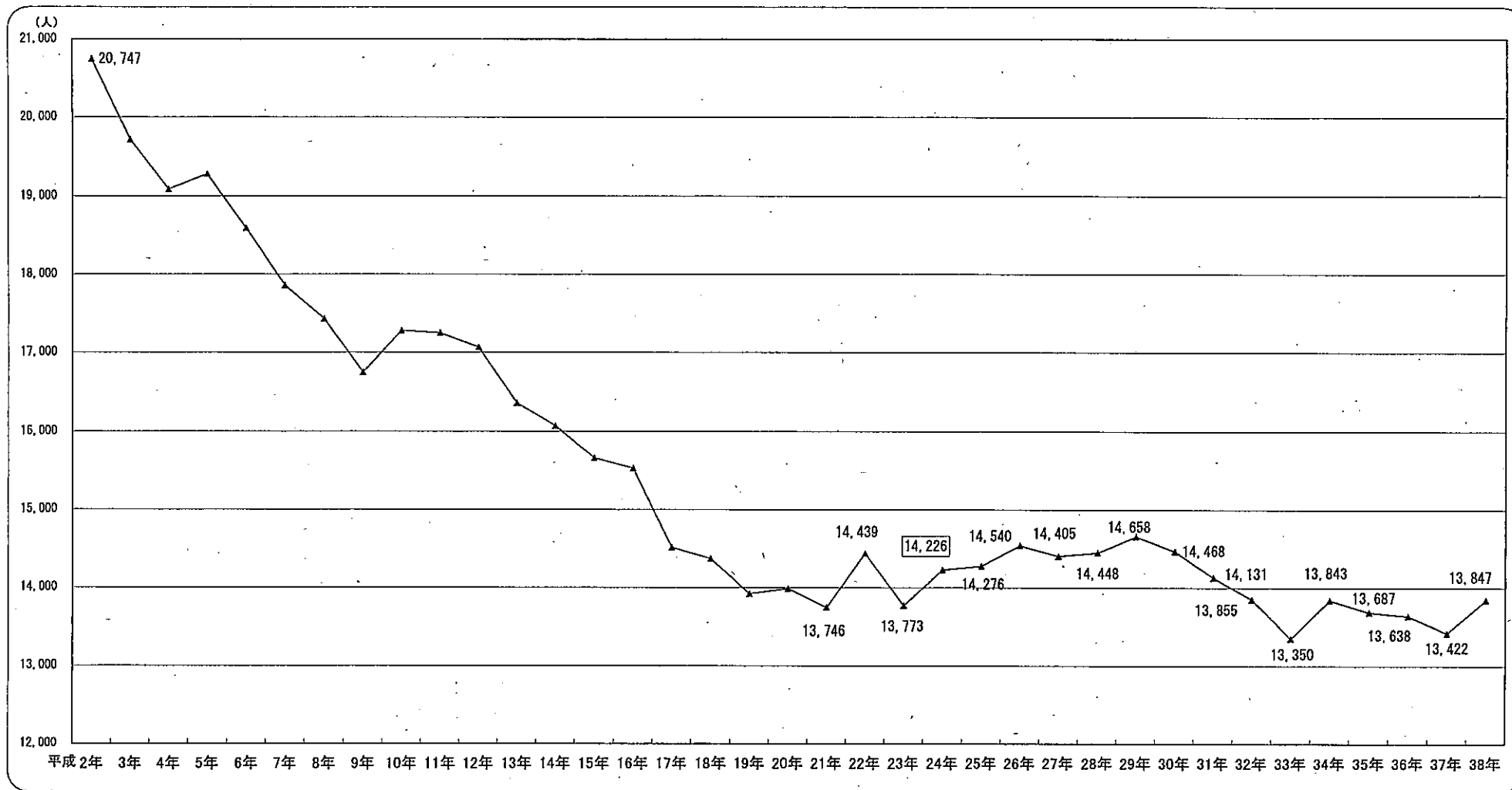
### 【通信制課程】

		大津	湖南	甲賀	湖東	湖北	湖西	学校数	計
普通科単独	大津清陵							1	1
学校数		1	0	0	0	0	0	1	1

### 3 中学校卒業(予定)者数の推移(全県)

現中3 現中2 現中1 現小6 現小5 現小4 現小3 現小2 現小1 現5歳 現4歳 現3歳 現2歳 現1歳

	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年	37年	38年	
全県計	20,747	19,715	19,088	19,279	18,592	17,859	17,432	16,750	17,283	17,251	17,068	16,361	16,073	15,655	15,526	14,515	14,370	13,922	13,988	13,746	14,439	13,773	14,226	14,276	14,540	14,405	14,448	14,448	14,658	14,468	14,131	13,855	13,350	13,843	13,687	13,638	13,422	13,847



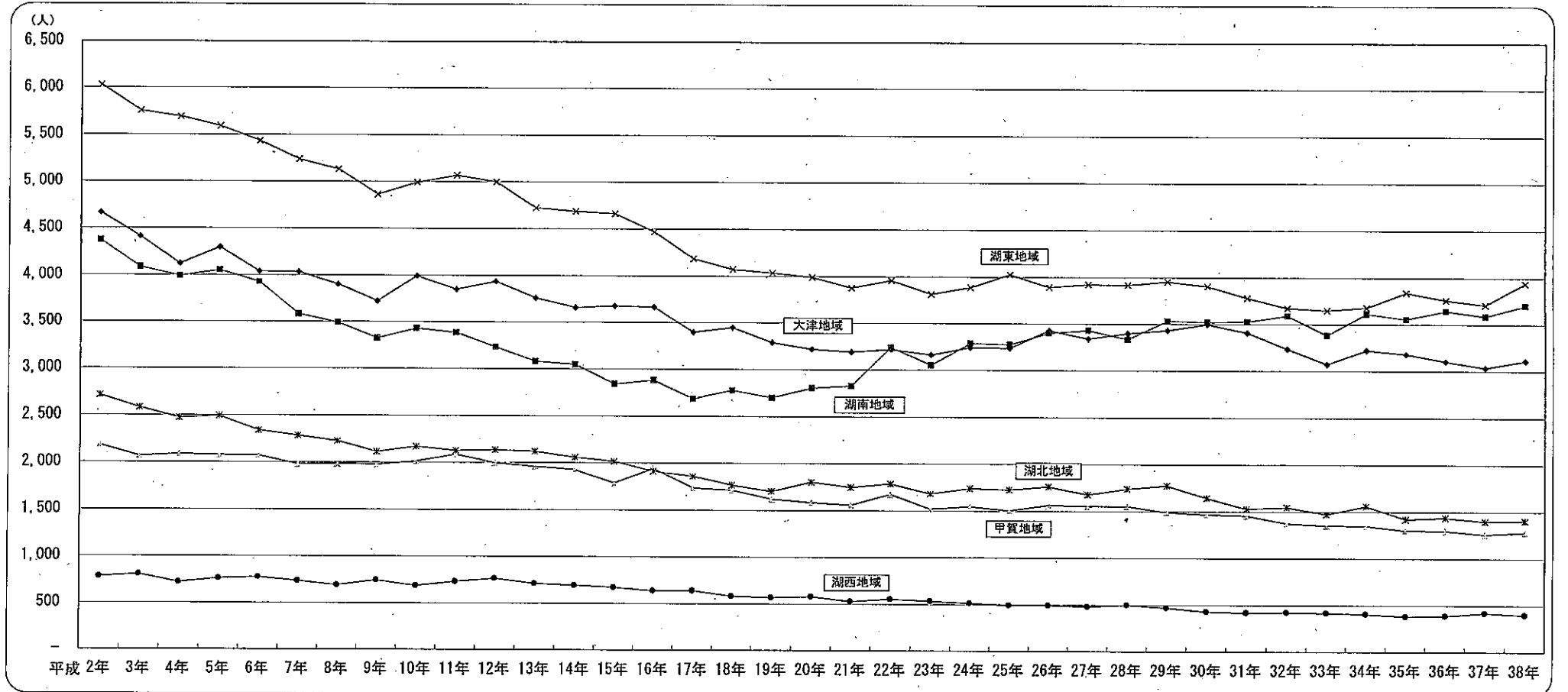
※ 平成25年～平成33年は、平成24年5月1日の学校基本調査による現員  
 ※ 平成34年以降は、平成24年4月1日付けの県人口推計(統計課)による

#### 4 中学校卒業(予定)者数の推移(地域別)

	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年	37年	38年
大津地域	4,666	4,414	4,123	4,298	4,042	4,035	3,901	3,723	3,993	3,849	3,935	3,760	3,657	3,675	3,664	3,397	3,448	3,289	3,222	3,193	3,220	3,163	3,245	3,299	3,425	3,339	3,397	3,430	3,496	3,408	3,237	3,071	3,224	3,182	3,104	3,038	3,111
湖南地域	4,371	4,088	3,992	4,053	3,928	3,584	3,492	3,323	3,428	3,385	3,235	3,080	3,047	2,843	2,885	2,689	2,781	2,702	2,805	2,832	3,243	3,054	3,289	3,277	3,398	3,429	3,334	3,534	3,520	3,529	3,591	3,382	3,616	3,557	3,643	3,589	3,702
甲賀地域	2,184	2,068	2,088	2,078	2,072	1,980	1,986	1,979	2,013	2,089	1,998	1,982	1,930	1,787	1,946	1,739	1,715	1,820	1,586	1,562	1,673	1,524	1,550	1,508	1,569	1,557	1,558	1,492	1,469	1,458	1,379	1,356	1,353	1,303	1,300	1,263	1,285
湖東地域	6,031	5,756	5,690	5,580	5,435	5,239	5,134	4,866	4,993	5,069	4,999	4,723	4,686	4,663	4,473	4,186	4,076	4,037	3,992	3,878	3,960	3,812	3,886	4,028	3,890	3,922	3,918	3,955	3,905	3,782	3,673	3,650	3,682	3,838	3,761	3,709	3,940
湖北地域	2,714	2,583	2,475	2,497	2,341	2,285	2,228	2,115	2,170	2,128	2,136	2,124	2,060	2,015	1,919	1,864	1,768	1,705	1,809	1,749	1,786	1,684	1,742	1,730	1,763	1,678	1,743	1,777	1,646	1,534	1,551	1,474	1,562	1,424	1,441	1,403	1,409
湖西地域	781	806	720	763	774	736	691	744	686	731	765	712	693	672	639	640	582	569	580	532	557	536	514	494	495	480	498	470	432	420	424	417	406	383	389	420	400
計	20,747	19,715	19,088	19,279	18,592	17,859	17,432	16,750	17,283	17,251	17,068	16,361	16,073	15,655	15,526	14,515	14,370	13,922	13,988	13,746	14,439	13,773	14,226	14,276	14,540	14,405	14,448	14,658	14,468	14,131	13,855	13,350	13,843	13,687	13,638	13,422	13,847

平成24年3月卒業生との比較(人) →  
 平成24年3月卒業生を100として比較 →

※ 平成25年～平成33年は、平成24年5月1日の学校基本調査による現員  
 ※ 平成34年以降は、平成24年4月1日付けの県人口推計(統計課)による  
 ※ 旧志賀町は合併前の数値についても比較のため、大津地域として算定



5 中学校卒業生数、高校等進学志望率、高校等進学率、就職率推移

卒業 年月	卒業生数			高校等進学志望率						高校等進学率						就職率					
	計	男	女	1次調査			2次調査			県			全国			県			全国		
				計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
昭和26.3	18,424	9,447	8,977							37.7	44.9	30.1	45.6	51.4	39.6	55.6	53.4	57.9	46.3	46.7	45.8
27.3	17,589	8,837	8,752							38.1	45.9	30.3	47.6	52.9	42.1	55.2	52.2	58.2	47.5	47.9	49.0
28.3	18,269	9,392	8,877							40.1	45.4	34.6	48.3	52.7	43.7	45.4	46.2	44.5	41.7	43.8	39.6
29.3	14,591	7,549	7,042							45.3	52.2	37.9	50.9	55.1	46.5	41.6	42.3	40.8	40.0	41.9	38.1
30.3	15,507	7,890	7,617							45.6	52.1	38.9	51.5	55.5	47.4	43.3	44.7	42.0	42.0	43.0	40.9
31.3	18,370	9,337	9,033							45.6	51.9	39.1	51.3	55.0	47.6	46.2	46.3	42.6	44.0	41.1	
32.3	18,466	9,522	8,944							45.7	51.0	40.1	51.4	54.3	48.4	46.8	48.6	44.9	43.3	45.0	41.5
33.3	18,455	9,479	8,976							48.0	53.3	42.4	53.7	56.2	51.1	45.6	46.0	45.1	40.9	42.7	39.0
34.3	18,199	9,267	8,932							51.0	55.5	46.3	55.4	57.5	53.2	41.1	42.8	39.4	39.8	41.3	38.2
35.3	15,738	7,967	7,771	56.7	62.3	51.0	55.0	61.0	48.9	52.9	57.1	48.5	57.7	59.6	55.9	43.4	43.0	43.9	38.6	39.7	37.5
36.3	11,609	5,904	5,705	60.7	65.4	55.9	59.7	64.2	55.0	60.5	63.3	57.6	62.3	63.8	60.7	37.1	36.6	37.6	35.7	36.6	34.8
37.3	16,903	8,646	8,257	62.7	66.6	58.6	60.1	63.9	56.2	59.8	62.7	56.8	64.0	65.5	62.5	36.6	36.5	36.6	33.5	34.3	32.6
38.3	21,501	10,969	10,532	67.4	70.4	64.1	65.6	69.2	61.9	61.2	64.8	57.4	66.8	68.4	65.1	32.7	33.4	31.9	30.7	31.2	30.1
39.3	22,022	11,270	10,752	70.7	74.4	66.9	68.0	71.7	64.2	63.8	67.4	60.0	69.3	70.6	67.9	30.9	31.2	30.5	28.7	29.1	28.4
40.3	20,447	10,437	10,010	72.6	76.1	69.0	70.0	74.0	65.8	65.8	69.5	61.9	70.6	71.7	69.6	28.2	28.4	28.0	26.5	26.9	26.0
41.3	18,790	9,700	9,090	75.2	78.1	72.1	72.5	75.9	68.9	69.6	73.2	65.8	72.3	73.5	71.2	25.1	25.1	25.0	24.5	24.6	24.4
42.3	16,576	8,532	8,044	77.4	80.3	74.3	75.1	78.5	71.4	73.2	76.8	69.4	74.7	75.3	73.7	21.6	21.3	21.9	22.9	23.1	22.7
43.3	15,550	7,966	7,584	79.6	81.7	77.4	77.2	79.4	75.0	75.3	77.6	72.9	76.8	77.0	76.5	20.7	20.6	20.9	21.2	21.2	20.6
44.3	14,526	7,526	7,000	81.7	83.3	80.0	80.0	81.4	78.4	78.2	80.1	76.1	79.4	79.2	79.5	17.7	17.3	18.1	18.7	18.9	18.4
45.3	14,396	7,347	7,049	84.9	86.0	83.8	82.6	83.6	81.6	80.7	81.7	79.6	82.1	81.6	82.7	15.1	15.1	15.1	16.3	16.5	16.1
46.3	13,972	7,271	6,701	87.6	88.0	87.2	85.3	85.2	85.4	84.2	84.2	84.2	85.0	84.1	85.9	14.4	16.7	11.8	13.7	13.8	13.8
47.3	13,323	6,778	6,545	89.5	89.8	89.2	87.4	87.9	86.9	86.6	87.5	85.6	87.2	86.2	88.2	11.6	13.3	9.9	11.5	11.4	11.5
48.3	12,944	6,648	6,296	92.3	92.4	92.1	90.5	90.7	90.3	89.0	89.7	88.2	89.4	88.3	90.6	9.1	11.0	7.1	9.4	9.4	9.4
49.3	14,116	7,219	6,897	94.5	94.8	94.3	92.5	93.1	91.9	90.4	91.5	89.2	90.8	89.7	91.9	5.4	4.9	5.8	7.7	7.7	7.4
50.3	13,594	6,875	6,719	95.5	95.3	95.8	93.6	93.9	93.3	91.9	92.7	91.1	91.9	91.0	93.0	3.5	3.1	3.9	5.9	5.9	5.9
51.3	13,587	6,924	6,663	95.5	95.3	95.8	93.7	94.2	93.2	92.2	92.8	91.6	92.6	91.7	93.5	3.6	3.6	3.5	5.2	5.2	5.2
52.3	13,550	6,911	6,639	96.8	96.4	97.1	94.7	94.8	94.5	93.1	93.3	92.9	93.1	92.2	94.0	3.0	3.2	2.8	4.8	5.0	4.7
53.3	13,965	7,019	6,946	96.6	96.5	96.7	93.9	94.0	93.6	92.5	92.8	92.1	93.5	92.7	94.4	3.2	3.1	3.2	4.4	4.6	4.2
54.3	14,388	7,366	7,022	96.0	95.7	96.3	94.4	94.3	94.5	92.7	92.5	93.0	94.0	93.0	95.0	3.5	3.9	3.1	4.0	4.3	3.6
55.3	15,128	7,817	7,311	96.7	96.3	97.3	94.3	94.1	94.5	92.6	92.4	92.8	94.2	93.1	95.4	3.9	4.8	2.9	3.9	4.5	3.2
56.3	14,536	7,489	7,047	96.3	96.1	96.6	94.6	94.6	94.6	93.2	93.0	93.4	94.3	93.2	95.4	3.7	4.3	3.0	4.0	4.7	3.2
57.3	13,648	7,021	6,627	96.2	95.5	97.0	94.2	93.5	94.9	93.0	92.6	93.4	94.3	93.2	95.5	3.7	4.5	2.9	4.0	4.7	3.2
58.3	16,931	8,604	8,327	96.1	95.9	96.3	93.5	93.3	93.6	91.5	91.6	91.3	94.0	92.8	95.2	4.5	5.6	3.3	3.9	4.8	3.0
59.3	17,570	8,966	8,604	96.4	95.5	97.4	93.9	92.7	95.1	93.6(93.1)	92.2	95.0	94.1(93.9)	93.0	95.3	3.5	4.4	2.6	3.8	4.6	3.0
60.3	17,463	9,008	8,455	96.6	96.3	96.9	94.7	94.0	95.5	93.7(93.3)	92.8	94.6	94.1(93.8)	93.1	95.3	3.8	4.7	2.8	3.7	4.5	2.9
61.3	18,792	9,525	9,267	96.8	96.4	97.3	94.3	93.4	95.2	94.2(93.0)	92.7	95.8	94.2(93.8)	93.1	95.3	3.8	4.8	2.8	3.6	4.4	2.7
62.3	19,576	10,146	9,430	97.2	96.7	97.8	95.6	94.6	96.8	95.2(94.1)	93.7	96.9	94.3(93.9)	93.2	95.4	2.7	3.5	1.8	3.1	3.9	2.3
63.3	20,509	10,409	10,100	97.3	96.7	98.0	95.4	94.3	96.5	95.3(94.2)	93.7	97.0	94.5(94.1)	93.4	95.7	2.6	3.4	1.8	3.0	3.9	2.0
平成元.3	20,675	10,577	10,098	97.4	96.6	98.1	95.3	94.2	96.4	95.5(93.6)	94.1	97.0	94.7(94.1)	93.6	95.9	2.4	3.3	1.6	2.9	3.8	1.9
2.3	20,747	10,742	10,005	97.6	97.2	98.0	95.7	95.0	96.4	96.9(94.2)	94.8	97.2	95.1(94.4)	94.0	96.2	2.1	3.0	1.0	2.8	3.7	1.8
3.3	19,715	10,063	9,652	97.6	97.2	98.0	95.7	94.9	96.5	95.8(94.0)	94.5	97.1	95.4(94.6)	94.3	96.4	2.4	3.5	1.3	2.6	3.4	1.7
4.3	19,088	9,764	9,324	97.9	97.5	98.2	96.0	95.0	97.0	96.5(94.6)	95.4	97.7	95.9(95.0)	94.8	96.9	1.6	2.3	0.9	2.3	3.1	1.5
5.3	19,279	9,871	9,408	97.7	97.3	98.0	96.5	95.8	97.3	96.8(94.7)	95.7	97.9	96.2(95.3)	95.3	97.2	1.2	1.6	0.8	2.0	2.7	1.3
6.3	18,592	9,521	9,071	97.9	97.3	98.5	96.5	95.6	97.5	96.9(95.2)	95.8	98.1	96.5(95.7)	95.6	97.5	1.2	1.7	0.7	1.7	2.4	1.0
7.3	17,859	9,171	8,688	97.7	97.1	98.2	96.4	95.5	97.3	96.8(95.2)	95.6	98.0	96.7(95.8)	95.8	97.6	1.2	1.6	0.8	1.5	2.2	0.9
8.3	17,432	9,025	8,407	97.7	97.1	98.4	96.4	95.4	97.5	96.8(94.8)	95.6	98.1	96.8(95.9)	95.9	97.8	1.2	1.6	0.7	1.4	2.0	0.8
9.3	16,750	8,598	8,152	97.6	96.9	98.3	96.8	95.9	97.8	96.8(94.9)	95.6	98.1	96.8(95.9)	95.9	97.7	1.1	1.6	0.6	1.4	2.1	0.7
10.3	17,283	8,841	8,442	97.6	96.8	98.4	97.3	96.3	98.2	96.9(94.8)	95.8	98.1	96.8(95.9)	96.0	97.8	1.0	1.5	0.6	1.3	1.9	0.7
11.3	17,251	8,963	8,288	97.7	97.2	98.3	97.4	96.6	98.2	97.2(94.8)	96.3	98.1	96.9(95.8)	96.1	97.7	0.8	1.0	0.6	1.1	1.6	0.6
12.3	17,068	8,887	8,181	98.0	97.6	98.5	97.7	97.0	98.5	97.3(94.9)	96.5	98.0	97.0(95.9)	96.3	97.7	0.7	0.9	0.4	1.0	1.5	0.5
13.3	16,361	8,475	7,886	98.0	97.7	98.4	97.8	97.1	98.6	97.6(95.6)	96.7	98.6	96.9(95.8)	96.3	97.6	0.6	0.8	0.3	1.0	1.0	0.5
14.3	16,073	8,269	7,804	97.6	97.2	98.1	97.8	97.4	98.3	97.3(95.2)	96.6	97.9	97.0(95.8)	96.5	97.5	0.6	0.8	0.4	0.9	1.3	0.5
15.3	15,655	8,006	7,649	98.3	98.1	98.6	97.8	97.3	98.3	97.6(95.8)	97.1	98.1	97.3(96.1)	96.9	97.7	0.5	0.6	0.2	0.8	1.1	



6 全日制高等学校における普通科・専門学科・総合学科別の進路状況

(単位:%)

学科		各年3月卒業生進路状況														
		大学等					専門学校等					就職				
		H20	H21	H22	H23	H24	H20	H21	H22	H23	H24	H20	H21	H22	H23	H24
普通科	普通科	66.0	67.6	67.9	66.8	66.9	20.4	19.1	19.4	20.3	20.0	9.1	8.5	7.7	7.6	8.3
	普通科系 専門学科	70.5	73.8	71.3	67.6	65.1	16.8	15.2	16.1	17.9	17.8	3.7	4.6	3.4	7.6	6.2
普通科+ 普通科系専門学科		66.2	67.8	68.0	66.8	66.9	20.3	19.0	19.3	20.2	20.0	9.0	8.3	7.6	7.6	8.2
職業系専門学科	農業学科	13.8	14.3	11.2	10.5	9.8	13.8	12.1	18.2	21.0	20.7	64.2	63.1	58.8	58.5	59.7
	工業学科	19.5	20.9	25.2	19.7	21.4	16.8	19.0	18.5	19.3	16.6	61.7	56.9	52.3	57.0	57.4
	商業学科	35.8	37.2	34.0	46.2	33.0	25.9	20.0	29.5	18.7	21.7	36.6	40.0	32.7	33.0	40.3
	家庭学科	33.1	31.4	28.1	32.9	25.2	28.3	30.2	27.5	38.8	40.6	23.5	30.2	24.2	21.7	18.2
	福祉学科	46.2	65.7	55.0	81.6	43.2	28.2	14.3	12.5	5.3	32.4	25.6	14.3	30.0	13.2	21.6
職業系専門学科		24.1	25.2	25.6	26.9	22.8	19.7	18.7	21.9	20.9	21.1	51.9	51.0	45.6	47.3	49.5
総合学科		41.4	43.8	38.4	40.5	37.1	26.4	24.4	26.2	23.9	24.9	26.7	23.0	29.6	30.0	33.1

7 県立高等学校（全日制）の第1学年募集定員による学校規模（地域別）

【平成2年度】

学級数	大津地域			湖南地域		甲賀地域		湖東地域		湖北地域		湖西地域	
	校数	校数	校名	校数	校名	校数	校名	校数	校名	校数	校名	校数	校名
11	4	2	東大津 膳所					1	八幡(普)10(看)1			1	高島
10	7	2	北大津 大津商業(商)10	1	守山	2	甲西 水口東	2	彦根東 八日市				
9	8	3	堅田 大津(普)7(家)2 石山(普)8(音)1	3	草津東 玉川 野洲			1	河瀬	1	伊香(普)7(農)2		
8	9	1	瀬田工業(工)8	3	守山北 栗東 国際情報(商)4(工)4	1	水口	2	彦根工業(工)8 八幡工業(工)8	2	長浜北(普)7(家)1 長浜商工(工)5(商)3		
7	7			1	草津			4	能登川 愛知 日野(普)5(商)2 彦根西(普)5(家)2	1	虎姫	1	安曇川(普)2(商)5
6	6					1	甲南(普)3(農)1(工)	2	彦根商業(商)6 八幡商業(商)6	3	伊吹 長浜 米原(普)4(理)2		
5	2			1	湖南農業(農)5					1	長浜農業(農)5		
4	1							1	八日市南(農)4				
3	1					1	信楽(普)1(工)2						
合計	45		8		9		5		13		8		2
平均 学級数			9.6		8.1		7.4		7.7		6.9		9.0

【平成24年度】

学級数	大津地域			湖南地域		甲賀地域		湖東地域		湖北地域		湖西地域	
	校数	校数	校名	校数	校名	校数	校名	校数	校名	校数	校名	校数	校名
11	1	1	膳所(普)10(理)1										
10	1	1	東大津										
9	1	1	石山(普)8(音)1										
8	3	1	大津(普)6(家)2	1	草津東(普)7(体)1			1	彦根東				
7	5	2	瀬田工業(工)7 大津商業(商)7	2	玉川 栗東(普)6(美)1			1	八幡				
6	14	1	北大津(普)5(国)1	3	草津 守山 国際情報(総)6	3	水口(普)5(国)1 水口東 甲西	4	河瀬 彦根工業(工)6 八幡工業(工)6 八日市	1	米原(普)5(理)1	2	高島 安曇川(普)2(総)4
5	9	1	堅田	2	守山北 野洲			2	彦根翔陽(総)5 八幡商業(商)5	4	長浜(普)4(福)1 長浜北 虎姫 長浜北星(総)5		
4	8			1	湖南農業(農)4	1	石部	3	彦根西(普)2(家)2 能登川 日野(総)4	3	伊吹 伊香 長浜農業(農)4		
3	4					2	甲南(総)3 信楽(普)1(工)2	2	愛知 八日市南(農)3				
合計	46		8		9		6		13		8		2
平均 学級数			7.9		6.0		4.7		5.2		4.8		6.0

8 高等学校（全日制）第1学年募集定員の学級数別学校数の全国比較

（平成24年度 都道府県立）

第1学年の学級数	全国		滋賀県				
	学校数	比率 (%)	学校数	比率 (%)			
1学級	67	2.1%	0	0.0%			
2学級	228	7.1%	0	0.0%			
3学級	282	8.7%	4	8.7%			
4学級	417	12.9%	8	17.4%			
5学級	445	13.8%	9	19.6%			
6学級	630	19.5%	14	30.4%			
7学級	484	15.0%	5	10.9%			
8学級	446	13.8%	3	6.5%			
9学級	168	5.2%	1	2.2%			
10学級	54	1.7%	1	2.2%			
11学級	9	0.3%	1	2.2%			
12学級	0	0.0%	0	0.0%			
13学級	0	0.0%	0	0.0%			
14学級	0	0.0%	0	0.0%			
15学級以上	2	0.1%	0	0.0%			
合計	3,232	100%	46	100%			
1校平均学級数	5.63学級		5.70学級				
1校平均学級数全国順位	—		19位				
1校平均学級数 全国順位 (多い順)	1位	大阪	7.30	1校平均学級数 全国順位 (少ない順)	47位	北海道	4.05
	2位	埼玉	7.12		46位	山口	4.10
	3位	神奈川	6.94		45位	島根	4.12
	4位	愛知	6.91		44位	岩手	4.16
	5位	奈良	6.75		43位	高知	4.23
	6位	沖縄	6.61		42位	秋田	4.35
	7位	京都	6.59		41位	山形	4.38
	8位	福岡	6.49		40位	鹿児島	4.45
	9位	千葉	6.47		39位	長崎	4.59
	10位	和歌山	6.37		38位	青森	4.63

※分校を除く

出典：富山県教育委員会作成資料（平成24年3月）より

魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて

～滋賀県立高等学校再編実施計画～

( 案 )

平成 24 年 10 月

滋賀県教育委員会

## 目 次

I	実施計画の考え方	1
II	再編の具体的な方策	1
1	新しいタイプの学校の設置	1
2	統合による新しい学校の設置	1
3	地域に根ざした学校づくり	2
4	職業系専門学科の改編等	2
5	総合学科の充実	3
6	定時制課程の見直し	3
7	その他教育内容の充実等	3
III	各地域の再編の概要と再編の方向	5
1	大津地域（大津市）	5
2	湖南地域（草津市、守山市、栗東市、野洲市）	5
3	甲賀地域（甲賀市、湖南市）	6
4	湖東地域（彦根市、近江八幡市、東近江市、蒲生郡、愛知郡、犬上郡）	6
5	湖北地域（長浜市、米原市）	7
6	湖西地域（高島市）	8
IV	具体的な再編内容	9
1	新しいタイプの学校の設置	9
2	統合による新しい学校の設置	11
3	地域に根ざした学校づくり	16
4	職業系専門学科の改編等	17
5	総合学科の充実	22
6	定時制課程の見直し	23

## I 実施計画の考え方

この「滋賀県立高等学校再編実施計画」は、「滋賀県立高等学校再編基本計画」で示した県立高等学校再編の基本的な考え方に基づき、平成25年度から概ね5年間の再編の具体的な内容を示すものです。

なお、今後の社会状況の変化や生徒数の推移、再編の進捗状況などを見極めながら、必要に応じて次期以降の実施計画を策定します。

## II 再編の具体的な方策

魅力と活力ある高等学校づくりを進めるため、生徒の興味・関心や進路希望等に応じた教育を提供し、魅力ある教育を展開するとともに、多様な選択科目の開設をはじめ、部活動や学校行事などの集団活動の活性化、施設や設備の効果的・効率的な利用等の観点から学校活力の維持向上を図ります。

このため、地域や学校の状況等に応じ、次の具体的な方策を講じるとともに、これに伴う必要な施設・設備の整備を行います。

各再編の具体的な内容や再編の実施方法等については、「IV 具体的な再編内容」で示します。

### 1 新しいタイプの学校の設置

#### 【総合単位制高等学校の設置（能登川高等学校の改編）】

生徒それぞれの学習ペースやスタイルなど、多様な学習ニーズに応える学びの場として、また、高等学校を中途退学した生徒や進路変更を希望する生徒に対する新たな学びの場として、柔軟な学びのシステムを特色とする全日制・定時制併置の総合単位制高等学校を能登川高等学校に設置します。

### 2 統合による新しい学校の設置

#### 【彦根西高等学校と彦根翔陽高等学校の統合による新しい学校の設置】

彦根西高等学校で培ってきた普通科と家庭学科の教育資源と彦根翔陽高校の総合学科で展開してきた普通・商業の系列を融合させ、普通・商業・家庭の系列で編成する総合学科高校を設置します。

新校は、多様な学びの中から夢の実現を支援する学校、多様な生徒が集い、互いに切磋琢磨しながら夢を育み学ぶ学校を目指します。

新校の校地については、彦根翔陽高等学校の校地を活用することとし、校名については、両校の関係者等による検討委員会を設け、検討を行います。

#### 【長浜高等学校と長浜北高等学校の統合による新しい学校の設置】

長浜高等学校と長浜北高等学校を統合し、湖北地域の既存の普通科単独校と並び立つ、大学等への進学指導に重点を置く地域の中核的な普通科単独校を設置します。

新校は、長浜市で展開されている英語教育の成果を高校教育につなげるとともに、高等学校における新しい英語教育の全県のモデル校とし、思考力・判断力・表現力および語学力といったグ

ローバル社会で活躍する資質と能力の育成を目指します。

新校の校地については、長浜高等学校の校地を活用することとし、校名については、両校の関係者等による検討委員会を設け、検討を行います。

### 3 地域に根ざした学校づくり

#### 【信楽高等学校の学科改編等】

通学上の配慮が必要な地域において、多様な学びの機会を確保し、生徒の進路希望等に応じた教育を行うため、信楽高等学校を普通・セラミック・デザインの3系列を持つ総合学科へ改編します。

また、地場産業等の地域の教育資源を活用した教育活動の展開や近隣校との連携、県外からも生徒を受け入れることで、学校活力の維持向上等を目指します。

こうした改編を行った後、5年を目途に検証を行い、その評価を踏まえて必要な対応を検討します。

### 4 職業系専門学科の改編等

#### (1) 農業学科

##### 【長浜農業高等学校、湖南農業高等学校、八日市南高等学校の小学科の改編】

農業学科の小学科を分かりやすい学科体系や名称に変更するとともに、地域の特色を生かしつつ、消費者や需要者のニーズにあった農業の展開や経営の多角化（6次産業化）、大規模経営などの学習を通して、将来の本県農業の担い手としての資質と能力を育成します。

また、大学等の上級学校への進学も視野に入れた教育内容の充実に努めます。

#### (2) 工業学科

##### 【瀬田工業高等学校、彦根工業高等学校、八幡工業高等学校の小学科の改編】

細分化された電気系と情報系の小学科を統合し、分かりやすい学科体系に整理するとともに、知識や技能の高度化に対応できる基礎的・基本的な学力の確実な習得を図り、多様な工業分野で活躍できる資質と能力を育成します。

化学系小学科と建設系小学科を設置する学校の見直し、施設・設備の効率的な活用や集中的な投資などにより、専門学科としての教育内容の充実に努めます。

また、大学等への上級学校への進学も視野に入れた教育内容の充実に努めます。

##### 【瀬田工業高等学校と瀬田高等学校の統合】

同一敷地内に設置されている瀬田工業高校（全日制）と瀬田高校（定時制）を統合し、全日制・定時制を併置した工業学科として、両校が持つノウハウの蓄積や施設・設備を有効に活用し、専門学科としての教育内容の充実に努めます。併せて、定時制課程の機械科と電気科を生徒の志望の実態に応じ、機械・電気科とします。

#### (3) 福祉学科

##### 【長浜高等学校福祉学科の廃止（長浜北星高等学校総合学科に福祉系列を設置）】

法改正により介護福祉士試験の受験資格として必要な高等学校における学習の時間数が増

加したこと等を踏まえ、介護福祉士の国家試験合格を目指すことを重視してきた福祉科教育のあり方を見直し、基礎的・基本的な学習に重点を置き、生徒の進路希望等に応じて上級学校に進学し、さらに福祉に関する学習を深めることができる形に改めます。

併せて、総合学科の柔軟な教育課程の中に福祉に関する専門教育を取り込み、生徒の多様なニーズに対応した学習の機会を確保するため、福祉学科を総合学科の系列に改編します。

## 5 総合学科の充実

### 【長浜北星高等学校総合学科に福祉系列を設置】

長浜北星高等学校に新たに福祉系列を設置し、普通・工業・商業・福祉の多様な系列で編成する総合学科高校として教育内容の充実を図ります。

新たに設置する福祉系列では、福祉に関する基礎的・基本的な学習を通して、将来、福祉や看護、医療分野などで地域に貢献できる資質と能力を育成します。

## 6 定時制課程の見直し

### 【長浜北星高等学校定時制課程の学科改編】

3年での卒業や転編入学を容易にするなど、生徒の多様なニーズに柔軟に対応できる教育課程が編成できるよう、長浜北星高等学校定時制課程を学年制の商業学科から単位制の総合学科へ改編します。

### 【彦根東高等学校定時制課程の廃止】

普通科の総合単位制高等学校を湖東地域に設置することに伴い、彦根東高等学校定時制課程を廃止します。

## 7 その他教育内容の充実等

### (1) 理数教育の充実

理数教育先進校との学校間連携等を一層推進し、科学技術や理科・数学などに興味を持つ生徒の学習意欲の喚起や能力の伸長を図り、将来の国際的な科学技術関係人材等の育成を目指します。

### (2) 英語教育の充実

英語教育先進校における取組実績を活かすとともに、思考力・判断力・表現力および語学力といったグローバル社会で活躍する資質と能力の育成を目指す、新しい英語教育の取組を推進します。

### (3) 大学等との連携強化

高等学校と大学等との連携を強化し、生徒がより高度な学習内容に触れることで進路選択に役立てるとともに、生徒の学問に対する興味・関心を喚起し、学習意欲を高めます。

### (4) 地域資源を活かした教育活動の推進

滋賀県が有する豊かな自然、歴史、文化、産業、地域コミュニティなどの様々な地域資源を



活かした教育活動を推進するとともに、これらを特色として更なる学校の魅力づくりを進めます。

**(5) ノーマライゼーションの理念に基づく教育の推進**

特別支援学校との交流等を通して、ノーマライゼーションの理念に基づく教育を推進します。

**(6) 教職員研修等の充実**

魅力ある教育課程の編成を図るため、カリキュラムマネジメント研修や授業力向上研修などの充実を図ります。また、大学や研究機関等への研修派遣を推進し、教員の資質向上を図ります。

### Ⅲ 各地域の再編の概要と再編の方向

高等学校の通学区域については、生徒の多様なニーズに応え、生徒の個性や能力を伸ばし、自ら学ぶ意欲をはぐくむため、自分に合った高校を主体的に選べるよう、高校の選択幅を最大限に広げることをねらいとして、平成18年度から全県一区となりました。

一方、全県一区制度のもとであっても、全日制高等学校の普通科進学者の約8割が地域の高等学校に進学していること等を踏まえ、各地域における再編の方向を示します。

各再編の具体的な内容や再編の実施方法等については、「Ⅳ 具体的な再編内容」で示します。

#### 1 大津地域（大津市）

大津地域においては、理数教育先進校を中心とした理数教育の一層の充実や新しい英語教育の取組の推進など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上を目指します。

〔再編内容〕

- 同一敷地内に設置されている瀬田工業高等学校（全日制）と瀬田高等学校（定時制）を統合し、専門学科としての教育内容の充実と施設・設備の有効活用を図ります。また、全日制課程工業学科の小学科を改編し、専門学科としての教育内容の充実を図るとともに、化学工業科を有する工業高校として特色ある学校づくりを進めます。
- 思考力・判断力・表現力および語学力といったグローバル社会で活躍する資質と能力の育成を目指す新しい英語教育の取組を推進し、英語教育の向上を図ります。
- SSHにおける取組実績を活かすとともに、SSH指定校との連携等を通して、科学技術や理科・数学などに興味を持つ生徒の学習意欲の喚起や能力の伸長を図り、将来の国際的な科学技術関係人材の育成を目指します。

※ SSH（スーパーサイエンスハイスクール）・・・将来の国際的な科学技術関係人材を育成するために、先進的な理数系教育を実施する学校として文部科学省が指定し、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を行う取組。現在、膳所高等学校・彦根東高等学校・虎姫高等学校が指定されている。

#### 2 湖南地域（草津市、守山市、栗東市、野洲市）

湖南地域においては、理数教育先進校との連携や新しい英語教育の取組の推進、都市近郊型農業を特色とする農業教育など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上を目指します。

〔再編内容〕

- 湖南農業高等学校農業学科の小学科を改編し、都市近郊型農業を特色として、消費者や需要者のニーズにあった農業の展開や経営の多角化（6次産業化）、大規模経営などの学習を通して、将来の本県農業の担い手としての資質と能力を育成します。
- 思考力・判断力・表現力および語学力といったグローバル社会で活躍する資質と能力の育成を目指す新しい英語教育の取組を推進し、英語教育の向上を図ります。

- SSH指定校との連携を強化し、科学技術や理科・数学などに興味を持つ生徒の学習意欲の喚起や能力の伸長を図り、将来の国際的な科学技術関係人材の育成を目指します。

### 3 甲賀地域（甲賀市、湖南市）

甲賀地域においては、理数教育先進校との連携や新しい英語教育の取組の推進、地域の教育資源を活用した特色ある教育活動の展開など、各学校の更なる魅力づくりを図り、地域全体の教育力の向上と学校活力の維持向上を目指します。

〔再編内容〕

- 通学上の配慮が必要な地域において、多様な学びの機会を確保し、生徒の進路希望等に応じた教育を行うため、信楽高等学校を総合学科へ改編するとともに、生徒の志望状況等を踏まえた学級数とします。同時に地場産業等の地域の教育資源を活用した教育活動の展開や近隣校との連携、県外からも生徒を受け入れることで、学校活力の維持向上等を目指します。
- 思考力・判断力・表現力および語学力といったグローバル社会で活躍する資質と能力の育成を目指す新しい英語教育の取組を推進し、英語教育の向上を図ります。
- SSH指定校との連携を進め、科学技術や理科・数学などに興味を持つ生徒の学習意欲の喚起や能力の伸長を図り、将来の国際的な科学技術関係人材の育成を目指します。

### 4 湖東地域（彦根市、近江八幡市、東近江市、蒲生郡、愛知郡、犬上郡）

湖東地域においては、新しいタイプの学校の設置、理数教育先進校を中心とした理数教育の一層の充実や新しい英語教育の取組の推進、農業教育や工業教育の充実、学校統合による多様な学びの中から夢の実現を支援する新校の設置など、それぞれの再編方策に沿った再編と各学校の更なる魅力づくりを進めることで、地域全体の教育力の向上と学校活力の維持向上を図り、生徒が意欲を持って学習に取り組んでいける教育を推進します。

〔再編内容〕

- 柔軟な学びのシステムを特色とする全日制・定時制併置の総合単位制高等学校を能登川高等学校に設置します。これに伴い、彦根東高等学校の定時制を廃止します。
- 学校統合による再編を行うことにより、学校の教育力の向上と湖東地域全体の学校活力の維持向上を図ります。新校は、多様な学びの中から夢の実現を支援する学校、多様な生徒が集い、互いに切磋琢磨しながら夢を育み学ぶ学校、部活動や学校行事などが活発で、豊かな人間性を育むことのできる学校を目指します。
- 思考力・判断力・表現力および語学力といったグローバル社会で活躍する資質と能力の育成を目指す新しい英語教育の取組を推進し、英語教育の向上を図ります。
- SSHにおける取組実績を活かすとともに、SSH指定校や小中学校との連携等を通して、科学技術や理科・数学などに興味を持つ生徒の学習意欲の喚起や能力の伸長を図り、将来の国際的な科学技術関係人材の育成を目指します。
- 八日市南高等学校農業学科の小学科を改編し、造園分野と住居内外の空間デザインが学べる花緑デザイン科を特色として、消費者や需要者のニーズにあった農業の展開や経営の多角化（6次産業化）、大規模経営などの学習を通して、将来の本県農業の担い手としての資質

と能力を育成します。

- 彦根工業高等学校工業学科と八幡工業高等学校工業学科の小学科を改編するとともに、学校間での小学科の集約を行い、彦根工業高等学校は建設科、八幡工業高等学校は環境化学科を有する工業高校として特色ある学校づくりを進め、専門学科としての教育内容の充実を図ります。

## 5 湖北地域（長浜市、米原市）

湖北地域においては、理数教育先進校を中心とした理数教育の一層の充実や新しい英語教育の取組の推進、園芸を特色とする農業教育の充実、学校統合による大学等への進学指導に重点を置く新校の設置、定時制課程の学科改編など、それぞれの再編方策に沿った再編と各学校の更なる魅力づくりを進めることで、地域全体の教育力の向上と学校活力の維持向上を図り、湖北の地で子どもたちが進路希望等に応じて学ぶことのできる環境をつくります。

### 〔再編内容〕

- 学校統合による再編を行うことにより、学校の教育力の向上と湖北地域全体の学校活力の維持向上を図ります。新校は、新しい英語教育の全県のモデル校とするとともに、大学等への進学指導に重点を置く地域の中核的な学校、部活動や学校行事などが活発で、豊かな人間性を育むことのできる学校を目指します。

また、中高一貫教育校については、新校の運営実績等を見定めた上で、新校設置後5年を目途に新校に設置します。

- SSHにおける取組実績を活かすとともに、SSH指定校との連携等を通して、科学技術や理科・数学などに興味を持つ生徒の学習意欲の喚起や能力の伸長を図り、将来の国際的な科学技術関係人材の育成を目指します。
- 長浜農業高等学校農業学科の小学科を改編し、草花栽培やフラワーデザインなどの草花装飾技術、果樹や野菜生産について、広大な農場や施設設備を活用した園芸全般を学習する園芸科を特色として、消費者や需要者のニーズにあった農業の展開、経営の多角化（6次産業化）、大規模経営などの学習を通して、将来の本県農業の担い手としての資質と能力を育成します。
- 介護福祉士の国家試験合格を目指すことを重視してきた福祉科教育のあり方を見直し、基礎的・基本的な学習に重点を置き、生徒の進路希望等に応じて上級学校へ進学し、さらに福祉に関する学習を深めることができる形に改めます。

併せて、総合学科の柔軟な教育課程の中に福祉に関する専門教育を取り込み、生徒の多様なニーズに対応した学習の機会を確保するため、福祉学科を総合学科の系列に改編します。

- 長浜北星高等学校に新たに福祉系列を設置し、普通・工業・商業・福祉の多様な系列で編成する総合学科高校として、学習内容の充実を図ります。

新たに設置する福祉系列では、福祉に関する基礎的・基本的な学習を通して、将来、福祉や看護、医療分野などで地域に貢献できる資質と能力を育成します。

- 長浜北星高等学校定時制課程について、3年での卒業や転編入学を容易にするなど、生徒の多様なニーズに柔軟に対応できる教育課程の編成ができるよう、学年制の商業学科から単位制の総合学科へ改編します。

## 6 湖西地域（高島市）

湖西地域においては、理数教育先進校との連携や新しい英語教育の取組の推進など、各学校の更なる魅力づくりを進めることで、地域全体の教育力の向上を目指します。

〔再編内容〕

- 思考力・判断力・表現力および語学力といったグローバル社会で活躍する資質と能力の育成を目指す新しい英語教育の取組を推進し、英語教育の向上を図ります。
- SSH指定校との連携を強化し、科学技術や理科・数学などに興味を持つ生徒の学習意欲の喚起や能力の伸長を図り、将来の国際的な科学技術関係人材の育成を目指します。

#### IV 具体的な再編内容

これまで示した学校の統合、学科改編等について、具体的な内容や再編の実施方法等を示します。

##### 1 新しいタイプの学校の設置

###### 【総合単位制高等学校の設置（能登川高等学校の改編）】

###### (1) 再編の概要

再編の内容	能登川高等学校の全日制課程普通科を学年制から単位制にするとともに、新たに定時制課程（単位制）普通科を設置し、全日制・定時制併置の総合単位制高等学校とする。
再編のねらい	生徒の多様な学習のニーズに対応した柔軟な学びのシステムにより、生徒の主体的な科目選択による学習や、様々な学習歴を持つ生徒の「学びあい」を通して、互いの人間性を高め、自己実現に向けて挑んでいく意欲をはぐくむ教育の推進を図る。
設置場所	能登川高等学校校地
再編年度	平成26年度
想定する学校規模	1学年 全日制課程3学級、定時制課程（午後・夜間）2学級
学科構成	普通科（単位制による全日制課程および定時制課程）
教育活動の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒一人ひとりのニーズや進路、学習ペースに合わせて、自分の時間割を作成する。</li> <li>○ 入学後に卒業までの学習計画を立て、各年度末には個別ガイダンスで時間割の見直し等を行う。</li> <li>○ 興味・関心や進路希望等に応じて、全日制と定時制の授業を相互に学ぶことも可能とする。（併修）</li> <li>○ 少人数講座や基礎・発展など、生徒のニーズに応じた講座を提供する。</li> </ul> <p>【全日制課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 原則として3年で卒業。</li> <li>○ 英語や数学などの科目は、基礎的な学習を中心とした講座と発展的な学習に取り組む講座を設定し、生徒の進路や目標に合わせた選択を可能とする。</li> <li>○ 通常の1～6時限に加え、希望の進路を実現するために、7・8時限の受講も可能とする。</li> </ul> <p>【定時制：午後部※】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 午後の時間帯を中心に、午前の授業も受講することで生活のリズムを作り、3年での卒業を目指す。</li> </ul> <p>【定時制：夜間部※】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昼間に働きながら夜間に学ぶスタイルで、1日に4時限の学習を基本とし、3年または4年間での卒業を目指す。</li> </ul>

- 他の時間帯の授業を受講したり、働いている場所での実務を単位の一部とする「実務代替」などで単位を取得し、3年での卒業も可能とする。
- 授業展開のイメージ

	午前(8:50~12:40)				午後(13:10~17:00)				夜間(17:30~21:00)			
時限	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
授業展開	全日制						併修					
			併修		定時制(午後部)				併修			
							併修		定時制(夜間部)			

- ※ 「午後部」「夜間部」の名称については仮称。
- 体育施設等を使用する時間帯を工夫することにより、全日制・定時制の部活動の活動時間を確保する。

以上の特色を基本として、今後さらに詳細な検討を進める。

#### (2) 改編に向けて

- 必要な教室の増設に加え、生徒が自主的に学習し、きめ細かな指導が受けられる施設や、定時制の給食室、グラウンドの夜間照明などを整備します。
- 改編前年度に学校説明会、入学者選抜を実施します。

#### (3) 改編の実施方法

- 平成 26 年度入学者選抜より、改編後の課程・学科による募集を開始します。

#### (4) その他

- 平成 25 年度以前に能登川高等学校に入学した生徒については、入学時に示された教育課程を履修することを保証します。

## 2 統合による新しい学校の設置

### 【彦根西高等学校と彦根翔陽高等学校の統合による新しい学校の設置】

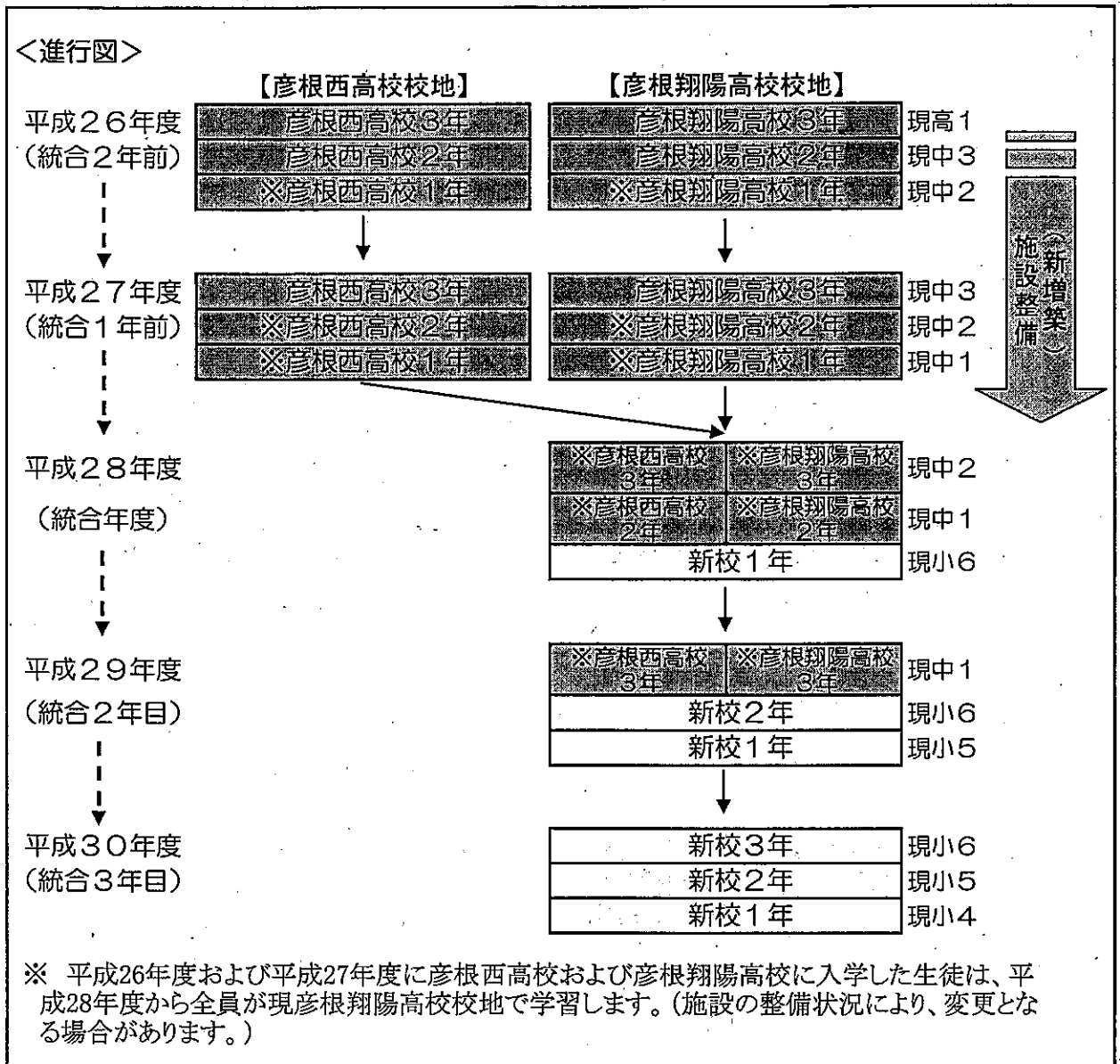
#### (1) 再編の概要

再編の内容	彦根西高等学校（普通科・家庭学科）と彦根翔陽高等学校（総合学科）を統合し、普通・商業・家庭の系列で編成する総合学科高校を設置する。
再編のねらい	彦根翔陽高校の総合学科で展開してきた普通・商業の系列と彦根西高等学校で培ってきた普通科と家庭学科の教育資源を融合させ、普通・商業・家庭の系列で編成する総合学科高校を設置し、自己実現に向けて主体的な学習を促す多様な学びの充実を図るとともに、多様な生徒集団のもと、人間関係形成能力や社会性の育成を目指す教育を推進する。
設置場所	彦根翔陽高等学校校地
再編年度	平成 28 年度
想定する学校規模	1 学年 9 学級
学科構成	総合学科 普通・商業・家庭の系列を設置
教育活動の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新校のコンセプト <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な学びのメニューの中から夢の実現を支援する学校</li> <li>・多様な生徒が集い、互いに切磋琢磨しながら夢を育み学ぶ学校</li> </ul> </li> <li>○ 生徒の一人ひとりの個性を伸ばす系列と選択科目を設定し、主体的な学習を支援する。</li> <li>○ 生徒一人ひとりの進路に合わせた学習内容を提供し、きめ細かな学習指導でサポートする。</li> <li>○ 高大連携で自分の興味・関心のある分野の講義を経験することにより、より専門性の高い学びへの動機付けを図る。</li> <li>○ 設置系列 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学進学等にも対応した普通系列</li> <li>・ビジネスに関する専門知識の習得と資格取得を目指す商業系列</li> <li>・家庭科に関する専門知識や技能を身につけられる家庭系列</li> </ul> </li> </ul> <p>以上の教育内容の特色を基本として、今後さらに検討を進める。</p>

#### (2) 統合の実施方法

- 平成 26 年度および平成 27 年度の入学者選抜において、彦根西高等学校と彦根翔陽高等学校に入学する生徒は、平成 28 年度から現彦根翔陽高等学校校地で全員が学習することを前提に募集します。（施設の整備状況により、変更となる場合があります。）
- 平成 28 年度入学者選抜より、彦根西高等学校と彦根翔陽高等学校の募集を停止し、新校の募集を開始します。
- 彦根西高等学校および彦根翔陽高等学校は、平成 27 年度入学生が卒業する平成 30 年 3 月まで存続します。





(3) 新校の開校に向けて

- この計画の策定後は、両校の関係者等を構成員とする(仮称)校名検討委員会を設置し、新校名を検討します。
- 新校予定地に両校の校長等からなる(仮称)新校設立準備委員会を設置し、教育課程の編成や校歌、校則などの検討を行います。
- 教室の増設や家庭系列に必要な設備などを新たに整備します。

(4) その他

- 平成27年度以前に彦根西高等学校および彦根翔陽高等学校に入学した生徒については、入学時に示された教育課程を履修することを保証します。
- 平成26年度の入学者選抜にかかる学校説明会までに、新校に設置する部活動を明らかにします。

【長浜高等学校と長浜北高等学校の統合による新しい学校の設置】

(1) 再編の概要

再編の内容	長浜高等学校（普通科・福祉学科）と長浜北高等学校（普通科）を統合し、普通科の単独新校を設置する。（福祉学科は廃止し、長浜北星高等学校総合学科に福祉系列を設置する。）
再編のねらい	<p>湖北地域の既存の普通科単独校と並び立つ中核的な普通科単独校を設置する。</p> <p>長浜市で展開されている英語教育の成果を高校教育につなげ、グローバル社会に生きる国際人を育成するための英語教育を展開する。</p>
設置場所	<p>長浜高等学校校地 (長浜高等養護学校は、長浜北星高等学校校地に新築移転)</p> <p>&lt;学校の配置&gt;</p>
再編年度	平成28年度
想定する学校規模	1学年 8学級
学科構成	普通科
教育活動の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新校のコンセプト <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学等への進学指導に重点を置く地域の中核的な普通科単独校</li> </ul> </li> <li>○ 基礎基本を徹底し、考える授業を展開する。</li> <li>○ 高等学校における新しい英語教育の全県のモデル校とし、英語教育を重視し、英語によるプレゼンテーション、コミュニケーション、ディスカッションなどによる言語能力を養成する。</li> <li>○ 湖北の小中学校における英語教育を引き継ぎ、その取組を活かした英語教育を展開する。</li> <li>○ 文武両道を重視する。</li> <li>○ 週2回の7時限授業を実施し、大学進学に必要な学力養成のための授業時間を確保する。</li> <li>○ 高大連携を通じて、大学の高度な教育・研究に触れ、発展的な学習の一端を経験することにより、学習への意欲、関心を喚起する。</li> </ul>

	<p>○ 国公立大学受験を目指したカリキュラムを設定する。</p> <p>以上の教育内容の特色を基本として、今後さらに詳細な検討を進める。</p>
--	---

## (2) 統合の実施方法

- 平成 26 年度および平成 27 年度の入学者選抜において、長浜高等学校と長浜北高等学校に入学する生徒は、平成 28 年度に現長浜北高等学校校地で全員が学習することを前提に募集します。
- 平成 28 年度入学者選抜より、長浜高等学校と長浜北高等学校の募集を停止するとともに、新校の募集を開始します。
- 平成 28 年度および平成 29 年度の入学者選抜において新校に入学する生徒は、平成 30 年度に現長浜高等学校校地で全員が学習する※ことを前提に募集します。  
※ 施設の整備状況により、変更となる場合があります。
- 長浜高等学校および長浜北高等学校は、平成 27 年度入学生が卒業する平成 30 年 3 月まで存続します。

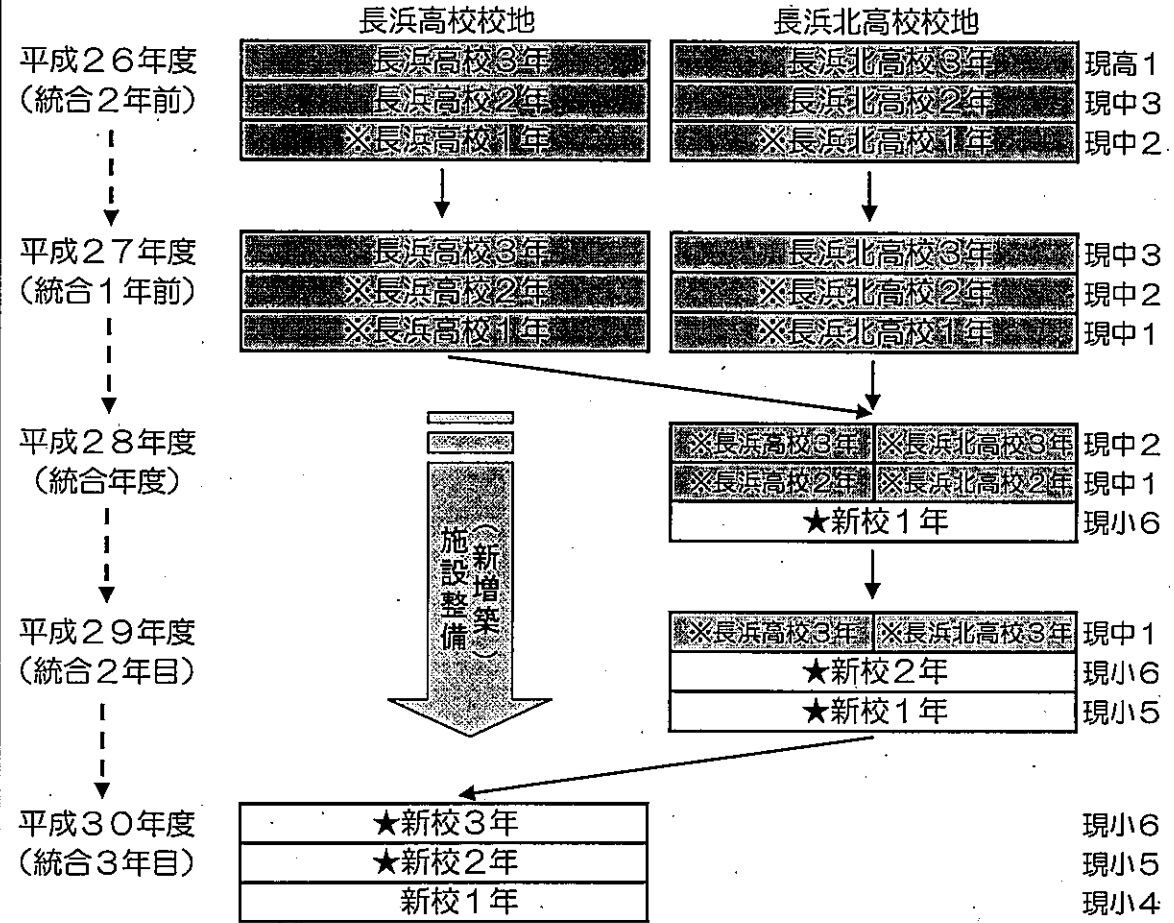
## (3) 新校の開校に向けて

- この計画の策定後は、両校の関係者等を構成員とする（仮称）校名検討委員会を設置し、新校名を検討します。
- 新校予定地に両校の校長等からなる（仮称）新校設立準備委員会を設置し、教育課程の編成や校歌、校則などの検討を行います。
- 平成 28 年度から平成 29 年度にかけて、現長浜高等学校校地に校舎を新增築します。

## (4) その他

- 平成 27 年度以前に長浜高等学校および長浜北高等学校に入学した生徒については、入学時に示された教育課程を履修することを保証します。
- 平成 26 年度の入学者選抜にかかる学校説明会までに、新校に設置する部活動を明らかにします。
- 長浜高等学校と長浜北高等学校を合わせると、1 学年 10 学級（平成 24 年度第 1 学年）のところ、新校は 1 学年 8 学級を想定していますが、例えば虎姫高等学校等、同じ湖北地域の学校の学級増を行うなど、地域ごとの中学校卒業予定者数や進学志望の動向などを踏まえ、地域ごとの定員を確保していきます。

<進行図>



※ 平成26年度および平成27年度に長浜高校および長浜北高校に入学した生徒は、平成28年度から全員が現長浜北高校校地で学習します。

★ 平成28年度および平成29年度に新校に入学した生徒は、平成30年度から現長浜高校校地で学習します。(施設の整備状況により、変更となる場合があります。)

### 3 地域に根ざした学校づくり

#### 【信楽高等学校を総合学科に改編】

##### (1) 再編の概要

再編の内容	<p>信楽高等学校（普通科、セラミック科、デザイン科）を普通・セラミック・デザインの3系列を持つ総合学科に改編する。</p> <p>また、セラミックやデザインの学習を特色として、県外から入学生を募集する仕組みを導入する。</p>
再編のねらい	<p>選択科目の設定の工夫により多様な学びを提供し、生徒の進路希望等に応じた教育を行う。</p> <p>地場産業関係者、地元陶芸家、大学、県機関、地域の有識者等の協力・連携によって、地場産業である信楽焼を中心とした地域の教育資源を活用した学習等を取り入れた魅力ある学習活動を展開し、学校活力の向上を図る。</p>
対象高等学校	信楽高等学校
再編年度	平成26年度
想定する学校規模	1学年 2学級
学科構成	総合学科 普通・セラミック・デザインの3系列を設置
教育活動の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地場産業関係者、地元陶芸家、大学、県機関、地域の有識者等の協力・連携によって、様々な角度から甲賀や信楽の自然、歴史、文化、伝統産業等について幅広く学習する仮称「ふるさと学」に全校生徒が取り組み、豊かな人間性を育み、ふるさとへの愛着と誇りを持ち、将来は地域社会に貢献できる資質と能力を育成する。</li> <li>○ 総合学科の必修科目「産業社会と人間」において、産業社会における自己のあり方や生き方について考え、学習した後、自分の興味・関心や進路希望に応じた系列を選択し学習する。</li> <li>○ 学校行事や部活動等において、近隣校と連携した取組を行う。</li> </ul> <p>以上の教育内容の特色を基本として、今後さらに詳細な検討を進める。</p>

##### (2) 改編の実施方法

- 平成26年度入学者選抜より、普通科、セラミック科、デザイン科の募集を停止し、総合学科の募集を開始します。

##### (3) その他

- 平成25年度以前に入学した生徒については、入学時に示された教育課程を履修することを保証します。
- こうした改編を行った後、5年を目途に検証を行い、その評価を踏まえて必要な対応を検討します。

4 職業系専門学科の改編等

【農業学科の小学科改編】

(1) 再編の概要

再編の内容	農業学科の小学科の改編を行う。																																				
再編のねらい	農業学科の小学科を中学生から見て分かりやすい学科体系や名称に変更するとともに、地域の特徴を生かしつつ、消費者や需要者のニーズにあった農業の展開、経営の多角化（6次産業化）、大規模経営などの学習内容の充実を通して、将来の本県農業の担い手としての資質と能力を育成する。																																				
対象高等学校	長浜農業高等学校、湖南農業高等学校、八日市南高等学校																																				
再編年度	平成26年度																																				
想定する学校規模	長浜農業高等学校 1学年 3学級 湖南農業高等学校 1学年 3学級 八日市南高等学校 1学年 3学級																																				
学科構成	<table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>【改編前】</td> <td></td> <td>【改編後】</td> </tr> <tr> <td>長浜農業</td> <td> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>生物活用科</td></tr> <tr><td>ガーデン科</td></tr> <tr><td>食品科学科</td></tr> <tr><td>環境デザイン科</td></tr> </table> </td> <td></td> <td> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>農業科</td></tr> <tr><td>食品科</td></tr> <tr><td>園芸科</td></tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>湖南農業</td> <td> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>農業技術科</td></tr> <tr><td>園芸工学科</td></tr> <tr><td>食品化学科</td></tr> <tr><td>環境緑地科</td></tr> </table> </td> <td>⇒</td> <td> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>農業科</td></tr> <tr><td>食品科</td></tr> <tr><td>花緑科</td></tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>八日市南</td> <td> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>農業技術科</td></tr> <tr><td>食品流通科</td></tr> <tr><td>緑地デザイン科</td></tr> </table> </td> <td></td> <td> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>農業科</td></tr> <tr><td>食品科</td></tr> <tr><td>花緑デザイン科</td></tr> </table> </td> </tr> </table>		【改編前】		【改編後】	長浜農業	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>生物活用科</td></tr> <tr><td>ガーデン科</td></tr> <tr><td>食品科学科</td></tr> <tr><td>環境デザイン科</td></tr> </table>	生物活用科	ガーデン科	食品科学科	環境デザイン科		<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>農業科</td></tr> <tr><td>食品科</td></tr> <tr><td>園芸科</td></tr> </table>	農業科	食品科	園芸科	湖南農業	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>農業技術科</td></tr> <tr><td>園芸工学科</td></tr> <tr><td>食品化学科</td></tr> <tr><td>環境緑地科</td></tr> </table>	農業技術科	園芸工学科	食品化学科	環境緑地科	⇒	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>農業科</td></tr> <tr><td>食品科</td></tr> <tr><td>花緑科</td></tr> </table>	農業科	食品科	花緑科	八日市南	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>農業技術科</td></tr> <tr><td>食品流通科</td></tr> <tr><td>緑地デザイン科</td></tr> </table>	農業技術科	食品流通科	緑地デザイン科		<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>農業科</td></tr> <tr><td>食品科</td></tr> <tr><td>花緑デザイン科</td></tr> </table>	農業科	食品科	花緑デザイン科
	【改編前】		【改編後】																																		
長浜農業	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>生物活用科</td></tr> <tr><td>ガーデン科</td></tr> <tr><td>食品科学科</td></tr> <tr><td>環境デザイン科</td></tr> </table>	生物活用科	ガーデン科	食品科学科	環境デザイン科		<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>農業科</td></tr> <tr><td>食品科</td></tr> <tr><td>園芸科</td></tr> </table>	農業科	食品科	園芸科																											
生物活用科																																					
ガーデン科																																					
食品科学科																																					
環境デザイン科																																					
農業科																																					
食品科																																					
園芸科																																					
湖南農業	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>農業技術科</td></tr> <tr><td>園芸工学科</td></tr> <tr><td>食品化学科</td></tr> <tr><td>環境緑地科</td></tr> </table>	農業技術科	園芸工学科	食品化学科	環境緑地科	⇒	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>農業科</td></tr> <tr><td>食品科</td></tr> <tr><td>花緑科</td></tr> </table>	農業科	食品科	花緑科																											
農業技術科																																					
園芸工学科																																					
食品化学科																																					
環境緑地科																																					
農業科																																					
食品科																																					
花緑科																																					
八日市南	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>農業技術科</td></tr> <tr><td>食品流通科</td></tr> <tr><td>緑地デザイン科</td></tr> </table>	農業技術科	食品流通科	緑地デザイン科		<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>農業科</td></tr> <tr><td>食品科</td></tr> <tr><td>花緑デザイン科</td></tr> </table>	農業科	食品科	花緑デザイン科																												
農業技術科																																					
食品流通科																																					
緑地デザイン科																																					
農業科																																					
食品科																																					
花緑デザイン科																																					
教育活動の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域と連携し特産物の商品開発や農産物の加工販売など6次産業化に向けた取組を行なう。</li> <li>○ 長浜農業高等学校は、草花栽培やフラワーデザインなどの草花装飾技術、果樹や野菜生産について、広大な農場や施設設備を活用した園芸全般を学べる園芸科を設置するなど、教育内容の充実を図る。</li> <li>○ 湖南農業高等学校は、都市近郊型農業が行なわれている県南部の平野部に立地している条件を活かし、野菜や草花の生産・販売を中心とした都市近郊型農業を学べる農業高校として、教育内容の充実を図る。</li> <li>○ 八日市南高等学校は、地域の緑地帯設計などの取組実績のある造園分野に加え、新たに住居内外の空間デザインが学べる花緑デザイン科を設置するなど教育内容の充実を図る。</li> </ul> <p>以上の教育内容の特色を基本として、今後さらに詳細な検討を進める。</p>																																				

## (2) 改編の実施方法

- 平成 26 年度入学者選抜より、改編後の小学科により生徒を募集します。

【工業学科の小学科改編】

(1) 再編の概要

再編の内容	工業学科の小学科改編および学校間での小学科の集約を行う。																																							
再編のねらい	<p>細分化された電気系と情報系の小学科を統合し、中学生から見て分かりやすい学科体系や名称に整理するとともに、知識や技能の高度化に対応できる基礎的・基本的な学力の確実な習得を図り、多様な工業分野で活躍できる資質と能力を育成する。</p> <p>また、特色ある学校づくりの推進や化学系小学科と建設系小学科を設置する学校の見直し等により、専門学科としての教育内容の充実を図る。</p>																																							
対象高等学校	瀬田工業高等学校、彦根工業高等学校、八幡工業高等学校																																							
再編年度	平成26年度																																							
想定する学校規模	瀬田工業高等学校 1学年 7学級 彦根工業高等学校 1学年 6学級 八幡工業高等学校 1学年 6学級																																							
学科構成	<table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>【改編前】</th> <th>→</th> <th>【改編後】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>瀬田工業</td> <td> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>情報電子科</td></tr> <tr><td>化学工業科</td></tr> </table> </td> <td></td> <td> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>化学工業科</td></tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>彦根工業</td> <td> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>情報技術科</td></tr> <tr><td>建設科</td></tr> <tr><td>環境化学科</td></tr> </table> </td> <td></td> <td> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>建設科</td></tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>八幡工業</td> <td> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>情報電子科</td></tr> <tr><td>建築科</td></tr> <tr><td>環境化学科</td></tr> </table> </td> <td></td> <td> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>環境化学科</td></tr> </table> </td> </tr> </tbody> </table>		【改編前】	→	【改編後】	瀬田工業	<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>情報電子科</td></tr> <tr><td>化学工業科</td></tr> </table>	機械科	電気科	情報電子科	化学工業科		<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>化学工業科</td></tr> </table>	機械科	電気科	化学工業科	彦根工業	<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>情報技術科</td></tr> <tr><td>建設科</td></tr> <tr><td>環境化学科</td></tr> </table>	機械科	電気科	情報技術科	建設科	環境化学科		<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>建設科</td></tr> </table>	機械科	電気科	建設科	八幡工業	<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>情報電子科</td></tr> <tr><td>建築科</td></tr> <tr><td>環境化学科</td></tr> </table>	機械科	電気科	情報電子科	建築科	環境化学科		<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>環境化学科</td></tr> </table>	機械科	電気科	環境化学科
	【改編前】	→	【改編後】																																					
瀬田工業	<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>情報電子科</td></tr> <tr><td>化学工業科</td></tr> </table>	機械科	電気科	情報電子科	化学工業科		<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>化学工業科</td></tr> </table>	機械科	電気科	化学工業科																														
機械科																																								
電気科																																								
情報電子科																																								
化学工業科																																								
機械科																																								
電気科																																								
化学工業科																																								
彦根工業	<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>情報技術科</td></tr> <tr><td>建設科</td></tr> <tr><td>環境化学科</td></tr> </table>	機械科	電気科	情報技術科	建設科	環境化学科		<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>建設科</td></tr> </table>	機械科	電気科	建設科																													
機械科																																								
電気科																																								
情報技術科																																								
建設科																																								
環境化学科																																								
機械科																																								
電気科																																								
建設科																																								
八幡工業	<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>情報電子科</td></tr> <tr><td>建築科</td></tr> <tr><td>環境化学科</td></tr> </table>	機械科	電気科	情報電子科	建築科	環境化学科		<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>機械科</td></tr> <tr><td>電気科</td></tr> <tr><td>環境化学科</td></tr> </table>	機械科	電気科	環境化学科																													
機械科																																								
電気科																																								
情報電子科																																								
建築科																																								
環境化学科																																								
機械科																																								
電気科																																								
環境化学科																																								
教育活動の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報系小学科と電気系小学科を統合した「電気科(仮称)」を設置し、電気や情報に関する基本的な知識と技能を身につける指導を行う。また、入学後に授業・実習を経験した後に、自分の興味・関心や進路希望等に応じた専門科目を選択することが可能な教育課程を編成する。</li> <li>○ 機械科、電気科をベースに、瀬田工業高等学校は化学工業科、彦根工業高等学校は建設科、八幡工業高等学校は環境化学科を有する工業高校として特色ある学校づくりを進める。</li> <li>○ 瀬田工業高等学校は電気自動車製作、彦根工業高等学校は「防災かまどベンチ」製作、八幡工業高等学校は「環境のための地球規模の学習及び観測プログラム(グローブ)推進事業」など、各校の特色ある取組を進めるとともに、その成果を積極的に地域に発信する。</li> </ul>																																							



	<p>○ 建設科および環境化学科を彦根工業高等学校と八幡工業高等学校間で集約し、既存の施設・設備の効果的な活用や集中投資を視野に入れ専門教育の充実を目指す。</p> <p>以上の教育内容の特色を基本として、今後さらに詳細な検討を進める。</p>
--	--

(2) 改編の実施方法

- 平成 26 年度入学者選抜より、改編後の小学科により生徒を募集します。

【瀬田工業高等学校と瀬田高等学校の統合】

(1) 再編の概要

再編の内容	同一敷地内に設置されている瀬田工業高等学校（全日制課程）と瀬田高等学校（定時制課程）を統合する。 併せて、定時制課程の機械科および電気科を生徒の志望の実態に応じ、機械・電気科とする。
再編のねらい	全日制・定時制を併置した工業学科として、両校が持つノウハウの蓄積や施設・設備を有効に活用し、専門学科としての教育内容の充実を図る。
設置場所	—
再編年度	平成 26 年度
想定する学校規模	1 学年 全日制課程 7 学級、定時制課程（夜間） 1 学級
学科構成	全日制課程 機械科、電気科、化学工業科 定時制課程 機械・電気科
教育活動の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 瀬田工業高等学校と瀬田高等学校で培ってきた学習指導や進路指導等のノウハウを共有し、効果的な学習活動を展開する。</li> <li>○ 施設・設備を有効に活用し、専門学科としての教育内容の充実を図る。</li> <li>○ 定時制課程の機械・電気科では、機械と電気のどちらかの類型を選んで学習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機械類型では、機械全般に関する基礎的知識や技能を学び、専門的な授業や実習を通して、機械加工技術の習得を目指す。</li> <li>・ 電気類型では、電気全般に関する基礎的知識や技能を学び、専門的な授業や実習を通して、電気施工管理技術の習得を目指す。</li> </ul> </li> </ul> <p>以上の教育内容の特色を基本として、今後さらに詳細な検討を進める。</p>

(2) 学校統合の実施方法

- 平成 26 年度入学者選抜より、瀬田高等学校（機械科、電気科）の募集を停止し、瀬田工業高等学校定時制課程（機械・電気科）の募集を開始します。
- 瀬田高等学校は、平成 25 年度入学生が卒業する平成 29 年 3 月末まで存続します。

(3) その他

- 平成 25 年度以前に瀬田工業高等学校および瀬田高等学校に入学した生徒については、入学時に示された教育課程を履修することを保証します。

## 5 総合学科の充実

【長浜北星高等学校総合学科に福祉系列を設置】

【長浜高等学校福祉学科の廃止】

### (1) 再編の概要

再編の内容	長浜北星高等学校に新たに福祉系列を設置し、普通・工業・商業・福祉の系列で編成する総合学科とするとともに、長浜高等学校の福祉学科を廃止する。
再編のねらい	<p>介護福祉士の国家試験合格を目指すことを重視してきた福祉科教育のあり方を見直し、基礎的・基本的な学習に重点を置き、生徒の進路希望等に応じて上級学校へ進学し、さらに福祉に関する学習を深めることができる形に改める。</p> <p>併せて、総合学科の柔軟な教育課程の中に福祉に関する専門教育を取り込み、生徒の多様なニーズに対応した学習の機会を確保するため、福祉学科を総合学科の系列に改編する。</p> <p>長浜北星高等学校は、普通・工業・商業・福祉の多様な学びの系列で編成する総合学科高校として、教育内容の充実を図る。</p>
対象高等学校	<p>長浜北星高等学校（工業・商業・福祉実習棟を新築）</p> <p>※ 長浜高等養護学校を併設（駅からの利便性が向上、校舎を新築するなど教育環境を改善）</p>
再編年度	平成26年度
想定する学校規模	1学年 6学級
学科構成	総合学科 普通・工業・商業・福祉の系列を設置
教育活動の特色	<p>○ 普通・工業・商業・福祉で編成する多様な系列から、自分の興味・関心や進路希望に応じた系列を選択し学習する。</p> <p>○ 新たに設置する福祉系列では、福祉に関する基礎的・基本的な学習を通して、将来、福祉や看護、医療分野などで地域に貢献できる資質と能力を育成する。</p> <p>また、福祉に関する基礎的・基本的な学習に重点を置き、生徒の進路希望に応じて上級学校への進学にも対応できるよう教育課程を工夫する。</p> <p>以上の教育内容の特色を基本として、今後さらに詳細な検討を進める。</p>

### (2) 改編の実施方法

- 平成26年度入学者選抜より、長浜高等学校福祉学科の募集を停止します。
- 平成26年度に長浜北星高等学校総合学科に入学した生徒から、福祉系列の選択が可能となります。

## 6 定時制課程の見直し

### 【長浜北星高等学校定時制課程の学科改編】

#### (1) 再編の概要

再編の内容	長浜北星高等学校の定時制課程を学年制の商業学科から単位制の総合学科へ改編する。
再編のねらい	普通、商業の系列で編成する総合学科へ改編することにより、転編入学や3年での卒業を容易にするなど、生徒の多様な学習ニーズに対応した教育を推進する。
対象高等学校	長浜北星高等学校 定時制課程
再編年度	平成26年度
想定する学校規模	長浜北星高等学校 定時制課程（夜間）1学年 1学級
学科構成	長浜北星高等学校 総合学科 普通・商業の系列を設置
教育活動の特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒一人ひとりが自分の興味・関心や進路希望等に基づき、主体的に科目を選択履修する。</li> <li>○ 少人数編成授業を行うなど、生徒の興味・関心や習熟の程度等にきめ細かく対応した授業を展開する。</li> <li>○ 総合学科の必修科目「産業社会と人間」において、産業社会における自己のあり方や生き方について考え、社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養う。</li> <li>○ 生徒が主体的に履修科目を選択できるよう、ガイダンス機能を充実し、計画的・組織的にきめ細かな指導を行う。</li> <li>○ 0時限や5時限授業の設定、実務代替、定通併修、技能審査等の単位認定制度を活用することで、3年での卒業を可能とする。</li> </ul> <p>※ 実務代替：一定の条件のもとに、働いている場所での実務を職業科目の一部とする制度</p> <p>※ 技能審査：簿記検定、実用英語技能検定、日本漢字能力検定など、一定の要件を満たす知識や技能の審査</p> <p>以上を基本として、今後さらに詳細な検討を進める。</p>

#### (2) 改編の実施方法

- 平成26年度入学者選抜より、長浜北星高等学校定時制課程商業学科の募集を停止し、総合学科の募集を開始します。

#### (3) その他

- 平成25年度以前に長浜北星高等学校定時制課程に入学した生徒については、入学時に示された教育課程を履修することを保証します。

**【彦根東高等学校定時制課程の廃止】****(1) 再編の概要**

再 編 の 内 容	普通科の総合単位制高等学校を湖東地域に設置することに伴い、彦根東高等学校の定時制課程（普通科）を廃止する。
対 象 高 等 学 校	彦根東高等学校 定時制課程
再 編 年 度	平成 26 年度

**(2) 再編の実施方法**

- 平成 26 年度入学者選抜より、彦根東高等学校定時制課程の募集を停止します。
- 彦根東高等学校の定時制課程は、平成 25 年度入学生が卒業する平成 29 年 3 月まで存続します。

**(3) その他**

- 平成 25 年度以前に彦根東高等学校定時制課程に入学した生徒については、入学時に示された教育課程を履修することを保証します。

※ 改編後の学科等は仮称です。